

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密
又は防護上の観点から公開できません。

敦賀発電所2号炉
敷地の地形、地質・地質構造
敷地内のD-1トレンチ内に認められる
K断層の活動性
(令和6年6月6, 7日現地調査 資料 活-2)

令和6年6月28日
日本原子力発電株式会社

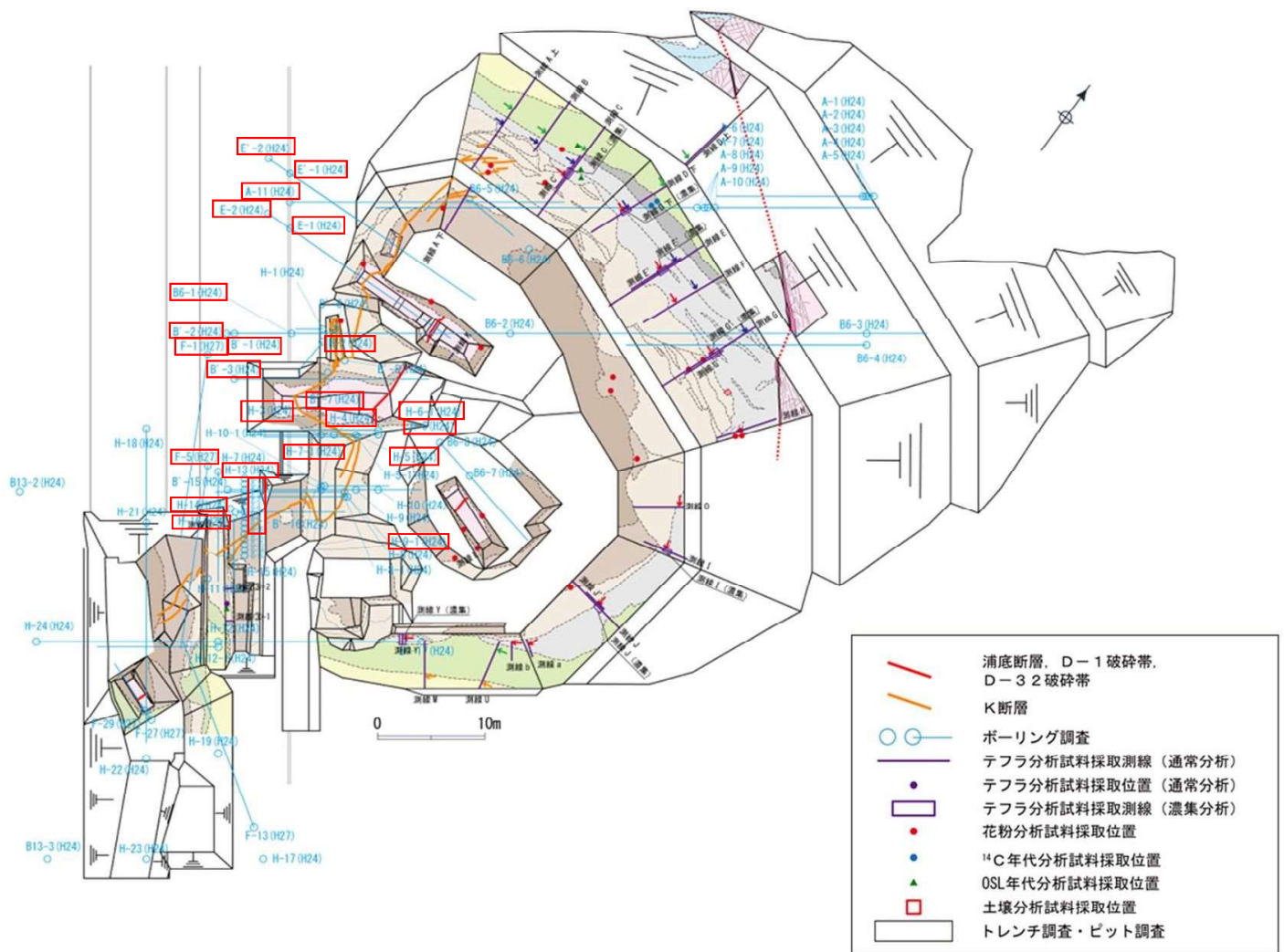
余白

- 本資料は、D-1トレンチで掘削したボーリングのうち、K断層を確認したボーリング孔の計32孔のボーリング孔を対象に取りまとめたものである。
- ボーリング柱状図は、ボーリング掘削後のボーリングコアの肉眼観察のみによる観察結果として取りまとめたものであり、一般社団法人全国地質調査業協会連合会社会基盤情報標準化委員会の「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領(案)・同解説 平成27年6月」に基づき、コア観察カード、コア写真等に基づき作成している。
- 柱状図に記載している断層名は、観察時の所見である。また、深度については、K断層については周辺のカタクレーサイト帯を合わせた範囲の記事にK断層と記載してる。

目次

孔名	断面図	頁
H24-E'-2	断面B	9
H24-E'-1	断面B	14
H24-A-11	断面A	19
H24-E-2	断面C	24
H24-E-1	断面C	29
H24-B6-1	断面D	34
H27-F-1	断面I	44
H24-B'-1	断面D	49
H24-B'-2	断面D	54
H24-H-2	断面E	59
H24-B'-7	断面E	62
H24-B'-3	断面E	65
H24-H-6-1	断面F	70
H24-H-3	断面F	73
H24-H-4	断面F	76
H24-H-5	断面F	79

孔名	断面図	頁
H24-H-6	断面F	82
H27-F-5	断面I	85
H24-H-13	断面I	90
H27-G-1	断面I	94
H27-G-2	断面I	97
H24-H-7-1	断面G	100
H27-G-3	断面I	103
H27-G-4	断面I	106
H24-H-9-1	断面G	109
H27-G-5	断面I	112
H27-G-6	断面I	115
H24-H-14	断面I	118
H27-G-7	断面I	121
H27-G-8	断面I	124
H27-G-9	断面I	127
H27-G-10	断面I	130



□: K断層を確認したボーリング孔

D-1トレンチ調査位置図(赤枠:対象ボーリング孔)

■柱状図で用いている記号の凡例を以下に示す。

・岩級区分

割れ目の状態	コア形状	硬軟				
		A _g	B _g	C _g	D _g	E _g
a _g	I _g	B'	-	-	-	-
	II _g	B'	C _H '	-	-	-
	III _g	-	C _H '	-	-	-
	IV _g	-	-	-	-	-
	V _g	-	-	-	-	-
	VI _g	-	-	-	-	-
b _g	I _g	B'	B'	C _M '	C _L '	-
	II _g	C _H '	C _H '	C _M '	C _L '	-
	III _g	C _H '	C _H '	C _M '	C _L '	-
	IV _g	-	C _M '	C _M '	C _L '	-
	V _g	-	C _L '	C _L '	C _L '	-
	VI _g	-	-	-	-	-
c _g	I _g	-	C _H '	C _M '	C _L '	D'
	II _g	-	C _M '	C _M '	C _L '	D'
	III _g	-	C _M '	C _M '	C _L '	D'
	IV _g	-	C _M '	C _L '	C _L '	D'
	V _g	-	C _L '	C _L '	C _L '	D'
	VI _g	-	-	-	D'	D'
d _g	I _g	-	-	-	-	-
	II _g	-	-	-	-	-
	III _g	-	-	-	-	-
	IV _g	-	-	-	-	-
	V _g	-	-	-	-	-
	VI _g	-	-	-	D'	D'

・硬軟

A _g	極めて硬質。ハンマーで澄んだ金属音がする。
B _g	硬質。ハンマーで金属音がする。
C _g	中硬質。ハンマーで多少濁った音がする。
D _g	軟質。ハンマーで濁音がする。
E _g	極めて軟質。ハンマーで著しく濁った音がする。

・コア形状

I _g	50cm以上の長柱状
II _g	20cm以上50cm未満の長柱状
III _g	10cm以上20cm未満の柱状
IV _g	3cm以上10cm未満の岩片状～短柱状
V _g	1cm以上3cm未満の岩片状
VI _g	1cm未満の土砂状

・割れ目の状態

a _g	密着，新鮮
b _g	酸化鉄付着
c _g	細粒物質を挟む。
d _g	割れ目として認識できない。

・風化

α	非常に新鮮である。造岩鉱物の変質はまったくない。
β	新鮮である。有色鉱物の周辺に赤褐色化がある。長石の変質はない。
γ	弱風化している。有色鉱物の酸化汚染がある。長石の部分的な変質(白色化)がある。
δ	風化している。有色鉱物が黄金色あるいは周辺が褐色粘土化している。長石の大部分が変質している。
ε	強風化している。石英および一部の長石を除きほとんど変質し原岩組織は失われている。

・変質

1	非変質	肉眼的に変質鉱物の存在が認められないもの。
2	弱変質	原岩組織を完全に残し，変質程度(脱色)が低いもの。あるいは非変質部の割合が高いもの(肉眼で50%以上)。
3	中変質	肉眼で変質が進んでいると判定できるが，原岩組織を明らかに残し，原岩判定が容易なもの。または，非変質部を残すものおよび網状変質部。
4	強変質	構成鉱物，岩片等が変質鉱物で完全置換され，原岩組織を全く～殆ど残さないもの。

・破碎度区分

区分	模様	詳細
Hc-1		粘土状部。 粘土及びシルトを主体とし、少量の砂及び礫を伴う。粘土化が進み全体に軟質化している。
Hc-2		礫混じり粘土状部。 粘土及びシルトの基質中に礫状ないしレンズ状の岩片を含む。基質及び礫は粘土化が進み軟質化している。
Hb		礫質粘土状部、粘土質礫状部、礫質砂状部。 礫を多く含み、基質は粘土、シルト及び砂からなる。基質は粘土化が進み軟質化しているが、礫は比較的新鮮で硬い。
Hj		粘土混じり礫状部、粘土混じり岩片状部、粘土質岩片状部、砂混じり岩片状部。 粘土及びシルトを挟む割れ目が発達し、全体に脆い。岩片は比較的新鮮で硬いものから、やや粘土化が進み指圧で砂状化するものまである。網目状の粘土細脈が発達することがある。

余白

H24-E'-2

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

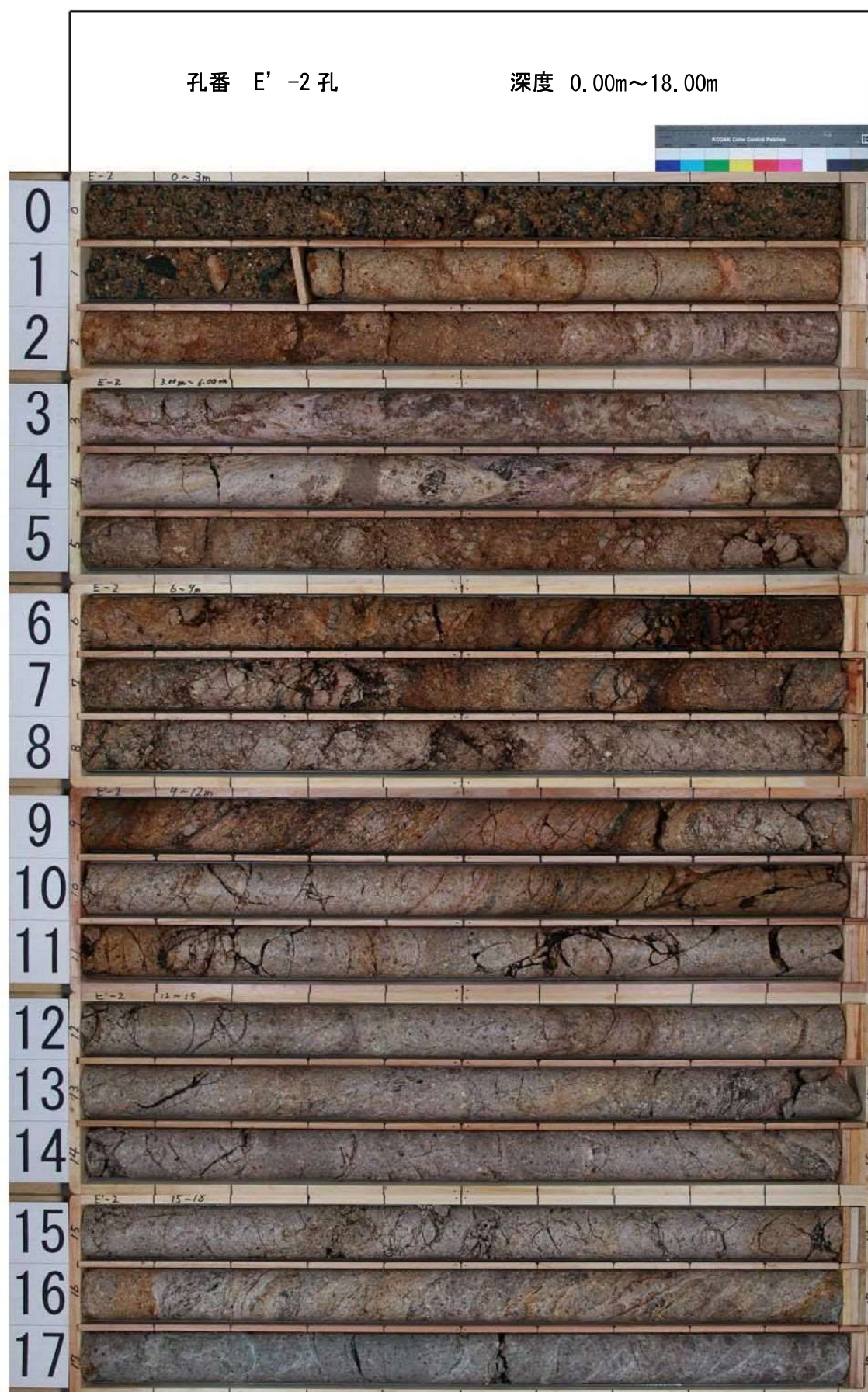
[illegible]

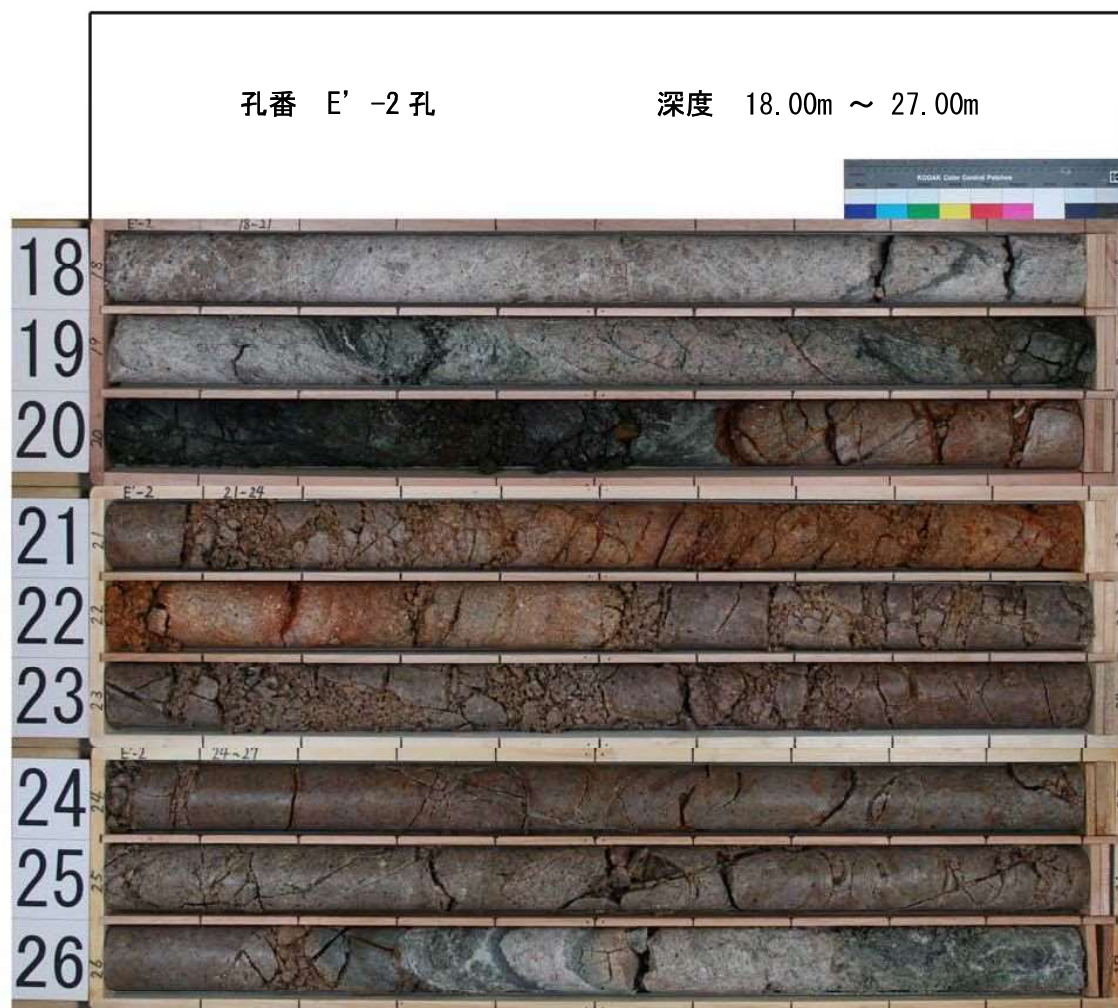
ボーリング名		E'-2		調査位置		X:395.945 , Y:1131.913				北緯		35° 45' 21.16"											
発注機関		日本原子力発電株式会社				調査期間		2013 年 2 月 2 日 ~ 2013 年 2 月 17 日				東経		136° 1' 2.59"									
調査業者名				主任技師				現代場 代理人		コ 鑑 定 者		ボーリング 責任者											
孔口標高		19.85 m		角 上				方 向				地盤 勾配				使用 機種		試錐機		ハンマー 落下用具			
総掘削長		27.00 m		度 下										エンジン				ポンプ					

[illegible]

E'-2 (2 / 2)

標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩	孔内水位 (m) / 測定月日	(N 値) 値	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内 試験	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔壁保護	コア チ ュー プ ノ ビ ット	給 水 圧 (kN / MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)							
尺	高	度	状	区	調	軟	状	目	化	質	事		級						日														
(m)	(m)	(m)	図	分				の					区						試														
(m)	(m)	(m)						状					分						験														
19				花崗斑岩	灰褐	Dg	Vg	cg	γ	3	●18.24～19.45m: 破砕部 (K断層) (変質作用による岩盤劣化も見られる) 18.24～18.43m: 粘土・礫混じり砂状破砕部 (Hb) 上端32"、下端22"。上部 (18.24m付近) は粘土分に富む。下位のHjとの境界は不明瞭。灰褐色を呈する。 18.43～18.86m: 粘土混じり礫状破砕部 (Hj) 上端22" (不明瞭)、下端64"。一部に原岩の組織が認められる。不規則に湾曲するが連続している。オリーブ黒色を呈する。幅30cm。 18.86～18.87m: 砂混じり粘土状破砕部 (Hc-2) 上下端とも64"。不規則に湾曲するが連続している。オリーブ黒色を呈する。幅5～10mm程度。 18.87～19.10m: 礫混じり砂状破砕部 (Hb) 上端64"、下端61"。下部 (19.10m付近) は幅4mm程度にわたり灰白色粘土に富む。明褐色を呈する。幅10cm程度。 19.10～19.45m: 角礫状破砕部 (Hj) 下端59" で直線的。明赤灰色～暗緑灰色を呈する。幅20cm。 19.45～20.63m: 変質により緑黒色を呈する。土砂～砂礫状を呈する。 ●26.30～27.00m: 破砕部 26.30～26.40m: 粘土質礫状破砕部 (Hj) 上下端48"。幅60～70mm。黄鉄鉱や雲母類を伴う。 26.40～26.41m: 砂混じり粘土状破砕部 (Hc-1) 上下端48" で両端とも波打つ。幅10～15mm。灰色。 26.41～26.48m: 粘土混じり砂状破砕部 (Hb) 下端50" で明瞭。幅50mm程度。下端は変質し緑灰色を呈する。 26.48～26.67m: 健岩部が残る。 26.67～27.00m: 粘土混じり角礫状破砕部 (Hj) 上端56"。黄鉄鉱、雲母類を伴う。	0		0	10	20	30	40	50														
20					緑黒	Dg	Vg	cg	γ	3												2/ 8	80	86	1.0	150		泥水15	10				
21					橙	Dg	Vg	cg	γ	3																							
22					褐灰 にふい き地	Dg	Vg	cg	δ													2/ 9	55			1.0	120		泥水10	0			
23					褐灰	Dg	Vg	dg	2																								
24						IVg	Vg	cg	γ																								
25						IVg	Vg	cg																									
26						IVg	Vg	cg														2/10	50			1.0	180		泥水7	0			
	4.62	27.00				IVg	Vg	cg																									
						IVg	Vg	cg																									
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											
				IVg	Vg	cg																											





H24-E'-1

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名		E'-1		調査位置		X:397.883 , Y:1130.584						北緯		35° 45' 21.17"							
発注機関		日本原子力発電株式会社						調査期間		2013 年 1 月 13 日 ~ 2013 年 1 月 26 日						東経		136° 1' 2.68"			
調査業者名				主任技師				現代場 代理人				コ 鑑 定 者				ボーリング 責任者					
孔口標高		20.79 m		角 上				方 向				地盤 勾配				使用 機種		試錐機		ハンマー 落下用具	
総掘削長		29.00 m		度 下		0° 45.0°								エンジン		ポンプ					

標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コ	岩	孔	(	標準	入	試験	原	室	掘	掘	給	回	送	送	排					
尺	高	度	状	種	調	軟	ア	れ	目	状	事	長	級	内	(	N	値	位	置	内	進	進	転	水	水	水						
(m)	(m)	(m)	図	分	調	状	形	の	状	化	事	cm	区	水	(	N	値	試	試	試	月	時	数	圧	量	量						
														位				験	験	験	日		(	(	(	(						
																							rpm	MPa	L/分	L/分						
1				埋土	明褐灰						0.00～2.36m：構造物および埋土 0.00～1.65m：コンクリート										1/13	44	116	180	泥水20	20						
2	19.12	2.36		黒褐							1.65～1.90m：砕石 径30～50mm。硬質な砂岩。 1.90～2.36m：砂礫 マゼリからなる緩い埋土。										1/14	80	116	180	泥水15							
3				明黄褐	Eg	Vg	dg			2	2.36～29.00m：花崗斑岩 (gp) 斑晶は径1～5mmの石英、長石。 2.36～8.22m：全体に軟質で、コアは土砂～薄片状を呈する。部分的に岩組織と割れ目は不明瞭となる。 3.46m：マンガン脈を切る白色粘土脈が認められる。傾斜55°。 ●6.90～6.95m：破砕部 6.90～6.92m：礫混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端50'で波打つ。下端は35'で直線的。暗灰黄色。径最大2cmの礫あり。 6.92～6.95m：粘土状破砕部 (Ho-1)																					
4				黄褐	Dg	Vg	cg			3																						
5				明黄褐	Eg	Vg	dg			2																						
6				明黄褐	Dg	Vg	cg			2																						
7				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
8				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
9				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
10				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
11				灰黄	Eg	Vg	dg			3																						
12				灰褐	Eg	Vg	dg			3																						
13				橙						3																						
14				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
15				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
16				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
17				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
18				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
19				明褐灰	Dg	Vg	cg			2																						
																										</						

E'-1 (2 / 2)

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	変 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内 試験	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔壁保護	給 水 圧 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
														(N) 値									
— 21				花崗斑岩	褐灰	Dg	vg	cg	γ	2	20.27~20.30m: 変質により、暗青灰色を呈する。 ●20.30~20.38m: 破砕部 20.30~20.37m: 砂礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端23'、下端25' でいずれも直線的。幅50mm程度。変質した岩片を含む。 20.37~20.38m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 下端25' で直線的。幅10mm。橙色。 ●22.77~23.01m: 破砕部 粘土混じり砂状破砕部 (Hb) 上端17'、下端19'。褐灰~明黄褐色。強く変質している。22.83mに幅2~5mmの赤褐色粘土脈を挟む。 ●25.13~25.36m: 破砕部 (G断層)	5 4 5 4 3 											

孔番 E' -1 孔

深度 0.00m~18.00m





H24-A-11

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

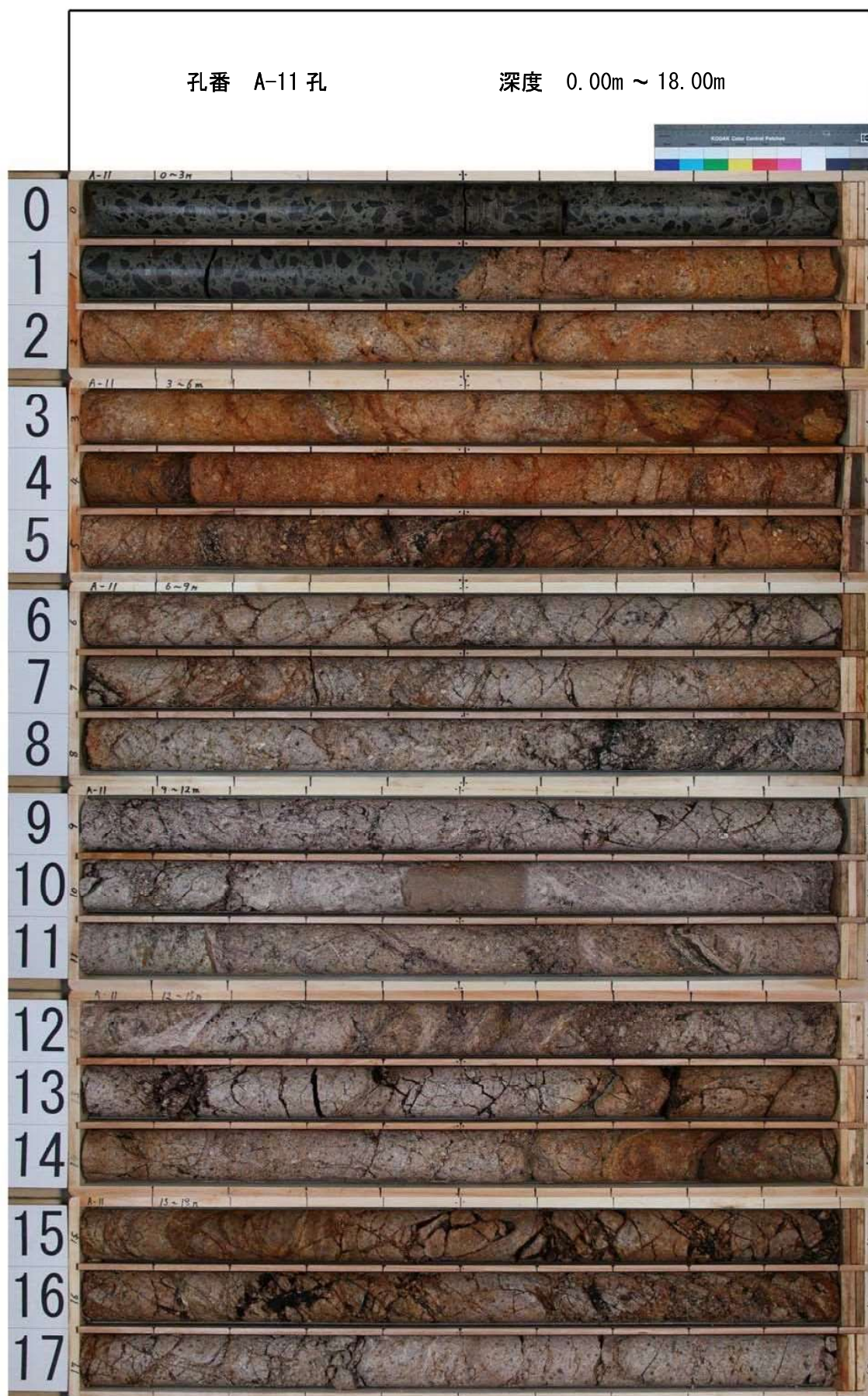
[illegible]

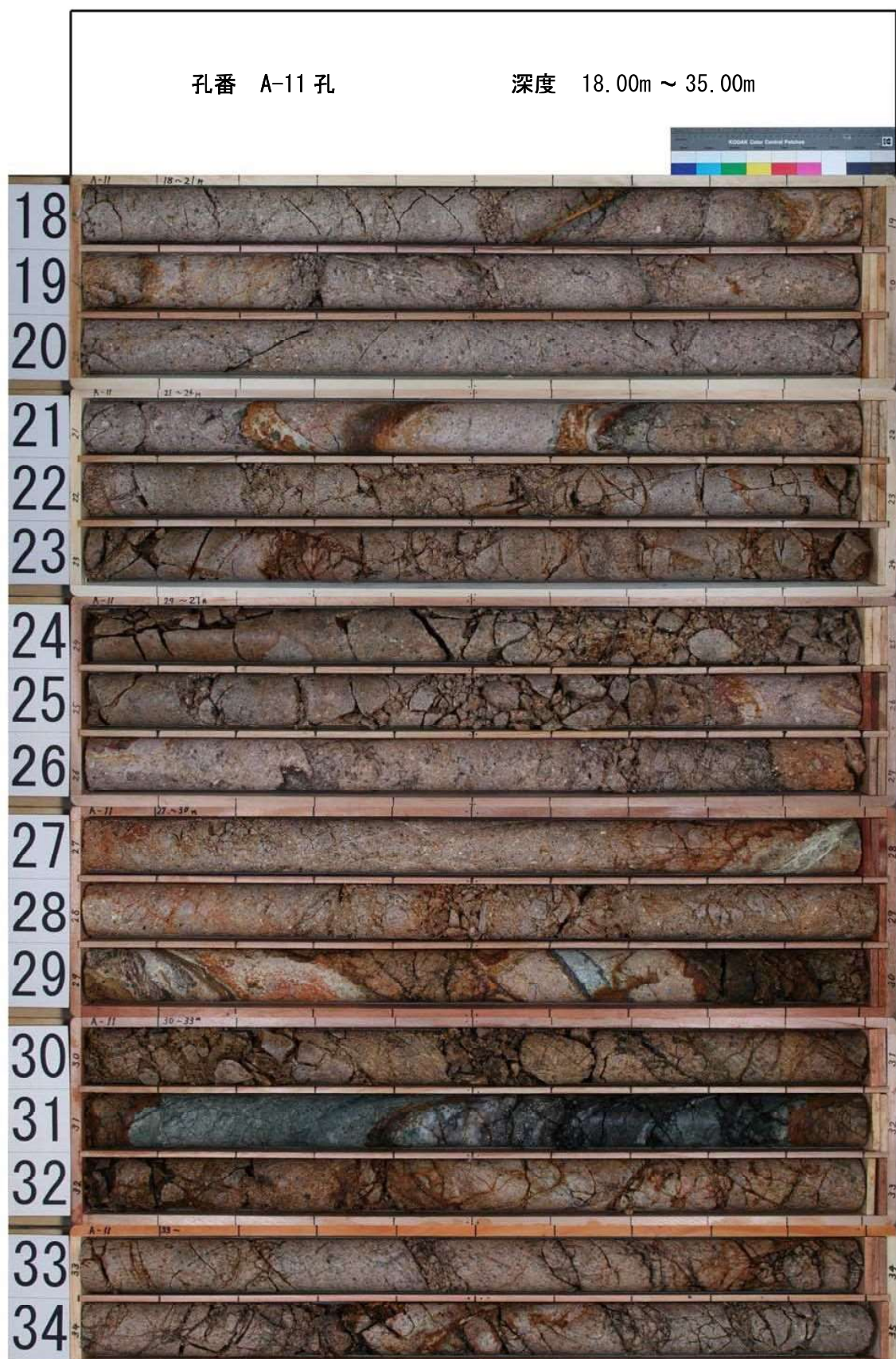
ボーリング名	A-11		調査位置		X:397.839 , Y:1128.000				北緯	35° 45' 21.10"		
発注機関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2013 年 2 月 1 日 ~ 2013 年 2 月 19 日				東経	136° 1' 2.74"	
調査業者名			主任技師		現代場		コ鑑ア		ボーリング責任者			
孔口標高	20.58 m	角上		方		地盤勾配		使用機種	試錐機	ハンマー落下用具		
総掘削長	35.00 m	度下		向				エンジン	ポンプ			

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 →(%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位(ｍ)/測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	掘進速度 (cm/時)	コアチューブノビット 孔径(mm)/孔壁保護	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
															(N値)	(N値×深度) 図											
(m)	(m)	(m)	図	区分	調	状	形	態	化	質	事																
1		19.33	1.77	埋土	褐灰						0.00~1.77m: 構造物及び盛土 0.00~1.50m: コンクリート 1.50~1.77m: 砂混じり粗砂	0								2/ 1	40	100 ケーシング	2.0	100	0.1	泥水 10	10
2		19.20	1.95	花崗斑岩	明黄褐			dg			1.77~1.95m: 砂礫(3層) 径10~80mmの花崗斑岩の崖内~垂 角線と縛った砂質土からなる。	0								2/ 2	60	100 ケーシング	2.0	100	0.1	泥水 10	10
3				花崗斑岩	明黄褐			dg			1.95~35.00m: 花崗斑岩(Gp) 1.95~5.58m: 著しく軟化する。 3.32m: 白色粘土状。傾斜45°。幅 20~30mm。薄く赤紫色粘土を伴う。	0															
4				花崗斑岩	明黄褐			dg			5.58~10.20m: 傾斜40~70°の割れ 目が交差する。一部で幅1~5mmの 白色粘土が網状に分布し、割れ目沿 いの細粒化や汚染がみられる。	0															
5				花崗斑岩	明黄褐			dg			●10.20~12.76m: 破砕部(K断層))<スライム含む> 10.20~10.58m: 硬質粘土状破砕部 (Hb)	0															
6				花崗斑岩	明黄褐			dg			上下端の境界角度は不明(上端は 礫状コア。下端はスライムのため) 。径1~5mmの石英粒と径5~10mm の一部粘土化。一部岩組織が残留 する岩片を含む。白~にぶい橙色 を呈する。幅21cm以上。	0															
7				花崗斑岩	明黄褐			dg			10.42~10.58m: スライム 10.58~11.17m: 粘土混じり礫状破 砕部(Hj)	0								2/ 4	125	100 ケーシング	1.0	100	0.1	泥水 10	10
8				花崗斑岩	明黄褐			dg			上端不明(スライムのため)。下 端15°で、直線的でシャープに連 続。コア全体が変質により軟化。 上位側の10.95m以深では厚さ1~4m m。傾斜60°~80°の白色軟弱粘 土脈が多く分布。にぶい黄緑~灰 褐色を呈する。幅約58cm。	0															
9				花崗斑岩	明黄褐			dg			11.17m: 粘土状破砕部(Ho-1) 上・下端15°でいずれも直線的で シャープに連続。径1mm前後の石英 粒をわずかに含む。灰赤色を呈す る。幅0~5mm。	0															
10		13.21	10.42	花崗斑岩	明黄褐			dg			11.17~11.19m: 礫混じり粘土状破 砕部(Ho-2)	0								2/ 5	75	100 ケーシング	1.0	100	0.1	泥水 10	10
11		13.10	10.58	花崗斑岩	明黄褐			dg			上端15°。下端10~40°で、上端 は直線的でシャープ。下端は大き く波打って連続。径1~2mmの石英 粒と径5mmの粘土化した岩片を含 む。明灰褐色を呈する。幅1~15mm。 11.19~11.66m: 粘土混じり礫状破 砕部(Hj)	0															
12				花崗斑岩	明黄褐			dg			下端35°で波打つ。岩片の軟化は 著しく硬さ[E]であるが、割れ目 の一部が残留している。灰褐色を 呈する。11.44mの55~70°の割れ 目は直線的でシャープなせん断性 割れ目で、厚さ1~2mmの赤褐色の 軟弱粘土脈を挟む。	0															
13				花崗斑岩	明黄褐			dg			11.66~11.68m: 硬質粘土状破砕部 (Hb)	0								2/ 6	86	100 ケーシング	1.0	150	0.1	泥水 10	10
14				花崗斑岩	明黄褐			dg			上端・下端ともに35°で波打って 連続。径1~2mmの石英粒と径5~10 mmの粘土化した岩片を多く含む。 淡黄緑~灰赤色を呈する。幅18~2 5mm。	0								2/ 7	80	86 ケーシング	1.0	100	0.1	泥水 10	10
15				花崗斑岩	明黄褐			dg			11.68~11.78m: 角礫状破砕部(Hj))	0															
16				花崗斑岩	明黄褐			dg			上端35°。下端45°で両者とも波 打って連続。径5~10mmの岩片の集 合で岩片間は粘土化する。割れ目 は分布しない。灰褐色を呈する。 幅7cm程度。	0															
17				花崗斑岩	明黄褐			dg			11.78~11.81m: 礫混じり粘土状破 砕部(Ho-2)	0								2/ 8	86	100 ケーシング	1.0	100	0.1	泥水 10	10
18				花崗斑岩	明黄褐			dg			上端・下端とも45°で波打って連 続。中央部には厚さ9mmで、下端部 がマンガン鉱染を受けた石英	0															
19				花崗斑岩	明黄褐			dg			上端・下端とも45°で波打って連 続。中央部には厚さ9mmで、下端部 がマンガン鉱染を受けた石英脈を 含む。淡黄緑~灰白色を呈する。 幅10cm程度。	0															
				花崗斑岩	明黄褐			dg			上端・下端とも45°で波打って連 続。中央部には厚さ9mmで、下端部 がマンガン鉱染を受けた石英脈を 含む。淡黄緑~灰白色を呈する。 幅10cm程度。	0															

A - 1 1 (2 / 2)

[illegible]





H24-E-2

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名	E-2		調査位置		X:395.862 , Y:1126.969					北緯		35° 45' 21.03"				
発注機関	日本原子力発電株式会社					調査期間		2013 年 2 月 23 日 ~ 2013 年 3 月 7 日				東経		136° 1' 2.70"		
調査業者名			主任技師				現代場人		コ鑑ア		定者		ボーリング責任者			
孔口標高	19.86 m	角上	180°	方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機				ハンマー 落下用具			
総掘削長	27.00 m	度下	0°						エンジン				ポンプ			

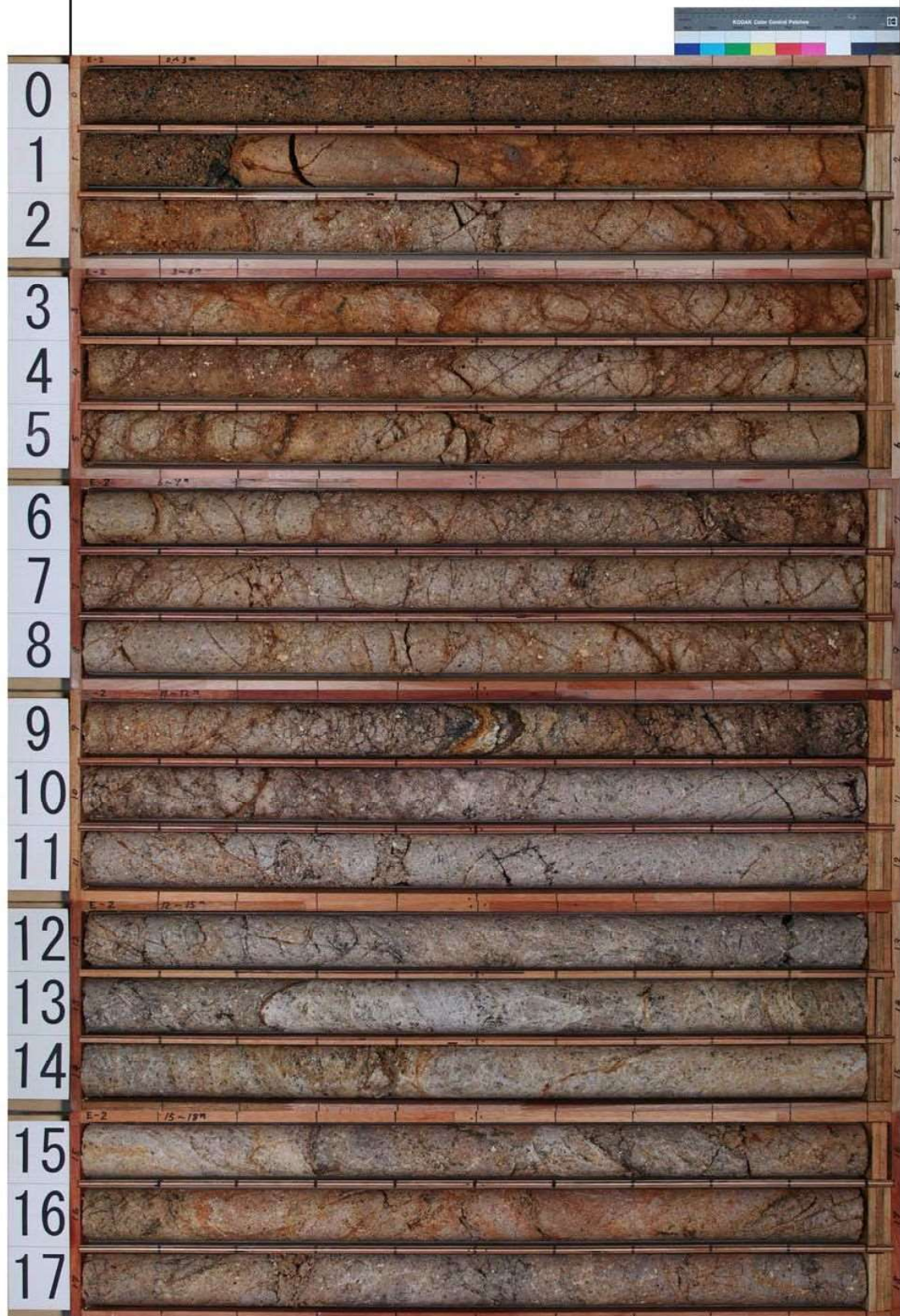
[illegible]

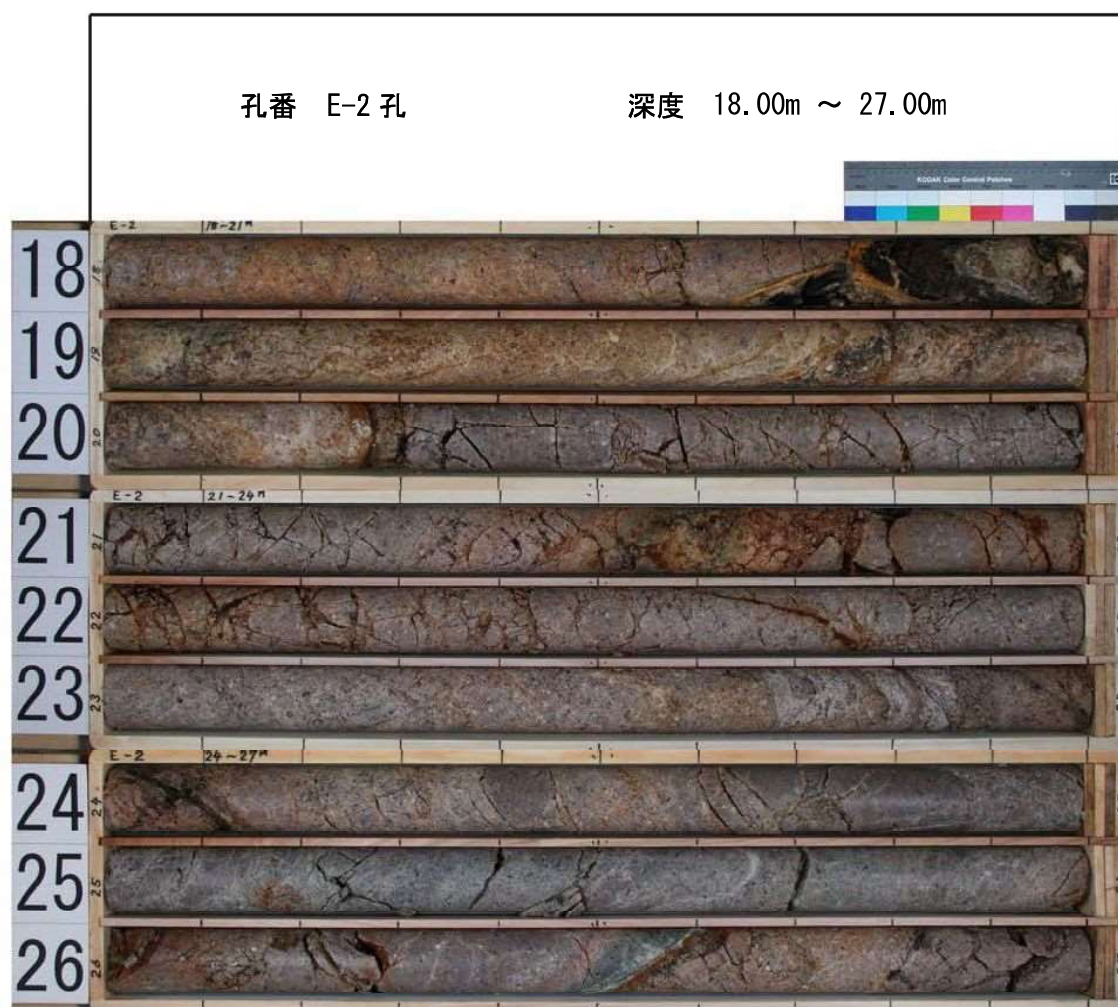
E-2 (2 / 2)

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 (%) 最大コ ア長 R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測定 日	(N 値) 図	(標準貫入 N値～深度) 試験	原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) ／孔壁保 護	給 水 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)
21					Eg	vg	dg	δ	3		15.82～18.71m: 部分的に著しく軟化し、粘土脈を伴う。 ●18.71～20.27m: 破砕部 18.71～18.73m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上下端70'で直線的で5-7'。幅4～5mm。黄褐色。 18.73～18.75m: 粘土質礫状破砕部 (Hb) 下端15'で不連続。幅15mm。マカニにより黒色化した岩片を含む。 18.75～18.76m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 下端70～80'で湾曲凹凸。幅3～10mm。黄褐色。石英を少量含む。 18.76～18.81m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 下端70'で湾曲。幅10～20mm。径5mm前後の黒褐色岩片を含む。 18.81～18.86m: 角礫状破砕部 (Hj) 下端68'で湾曲。幅30mm。径5～10mmの角礫状。 18.86～19.08m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 下端62'で不明瞭。 19.08～20.17m: 粘土混り礫状破砕部 (Hj) 下端50～75'で不明瞭。白色粘土を網目状に伴う。 20.17～20.27m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 下端45'で直線的。膨縮し、径30mm以下の岩片多い。 ●23.68～23.87m: 破砕部 23.68～23.82m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 下端42'で直線的。径30mm以下の岩片多い。 23.82～23.83m: 粘土状破砕部 (Hc-2) 上端42'・下端40'で直線的。幅10～15mm。 23.83～23.87m: 礫質粘土状破砕部 (Hb)。 26.55m: 幅1～2mmの緑灰色粘土を挟む。傾斜60'。	0 50 100 7 10 15 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1060 1061 1062 1063 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1080 1081 1082 1083 1084 1085 1086 1087 1088 1089 1090 1091 1092 1093 1094 1095 1096 1097 1098 1099 1100 1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1120 1121 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1140 1141 1142 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161 1162 1163 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184 1185 1186 1187 1188 1189 1190 1191 1192 1193 1194 1195 1196 1197 1198 1199 1200 1201 1202 1203 1204 1205 1206 1207 1208 1209 1210 1211 1212 1213 1214 1215 1216 1217 1218 1219 1220 1221 1222 1223 1224 1225 1226 1227 1228 1229 1230 1231 1232 1233 1234 1235 1236 1237 1238 1239 1240 1241 1242 1243 1244 1245 1246 1247 1248 1249 1250 1251 1252 1253 1254 1255 1256 1257 1258 1259 1260 1261 1262 1263 1264 1265 1266 1267 1268 1269 1270 1271 1272 1273 1274 1275 1276 1277 1278 1279 1280 1281 1282 1283 1284 1285 1286 1287 1288 1289 1290 1291 1292 1293 1294 1295 1296 1297 1298 1299 1300 1301 1302 1303 1304 1305 1306 1307 1308 1309 1310 1311 1312 1313 1314 1315 1316 1317 1318 1319 1320 1321 1322 1323 1324 1325 1326 1327 1328 1329 1330 1331 1332 1333 1334 1335 1336 1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1350 1351 1352 1353 1354 1355 1356 1357 1358 1359 1360 1361 1362 1363 1364 1365 1366 1367 1368 1369 1370 1371 1372 1373 1374 1375 1376 1377 1378 1379 1380 1381 1382 1383 1384 1385 1386 1387 1388 1389 1390 1391 1392 1393 1394 1395 1396 1397 1398 1399 1400 1401 1402 1403 1404 1405 1406 1407 1408 1409 1410 1411 1412 1413 1414 1415 1416 1417 1418 1419 1420 1421 1422 1423 1424 1425 1426 1427 1428 1429 1430 1431 1432 1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441 1442 1443 1444 1445 1446 1447 1448 1449 1450 1451 1452 1453 1454 1455 1456 1457 1458 1459 1460 1461 1462 1463 1464 1465 1466 1467 1468 1469 1470 1471 1472 1473 1474 1475 1476 1477 1478 1479 1480 1481 1482 1483 1484 1485 1486 1487 1488 1489 1490 1491 1492 1493 1494 1495 1496 1497 1498 1499 1500 1501 1502 1503 1504 1505 1506 1507 1508 1509 1510 1511 1512 1513 1514 1515 1516 1517 1518 1519 1520 1521 1522 1523 1524 1525 1526 1527 1528 1529 1530 1531 1532 1533 1534 1535 1536 1537 1538 1539 1540 1541 1542 1543 1544 1545 1546 1547 1548 1549 1550 1551 1552 1553 1554 1555 1556 1557 1558 1559 1560 1561 1562 1563 1564 1565 1566 1567 1568 1569 1570 1571 1572 1573 1574 1575 1576 1577 1578 1579 1580 1581 1582 1583 1584 1585 1586 1587 1588 1589 1590 1591 1592 1593 1594 1595 1596 1597 1598 1599 1600 1601 1602 1603 1604 1605 1606 1607 1608 1609 1610 1611 1612 1613 1614 1615 1616 1617 1618 1619 1620 1621 1622 1623 1624 1625 1626 1627 1628 1629 1630 1631 1632 1633 1634 1635 1636 1637 1638 1639 1640 1641 1642 1643 1644 1645 1646 1647 1648 1649 1650 1651 1652 1653 1654 1655 1656 1657 1658 1659 1660 1661 1662 1663 1664 1665 1666 1667 1668 1669 1670 1671 1672 1673 1674 1675 1676 1677 1678 1679 1680 1681 1682 1683 1684 1685 1686 1687 1688 1689 1690 1691 1692 1693 1694 1695 1696 1697 1698 1699 1700 1701 1702 1703 1704 1705 1706 1707 1708 1709 1710 1711 1712 1713 1714 1715 1716 1717 1718 1719 1720 1721 1722 1723 1724 1725 1726 1727 1728 1729 1730 1731 1732 1733 1734 1735 1736 1737 1738 1739 1740 1741 1742 1743 1744 1745 1746 1747 1748 1749 1750 1751 1752 1753 1754 1755 1756 1757 1758 1759 1760 1761 1762 1763 1764 1765 1766 1767 1768 1769 1770 1771 1772 1773 1774 1775 1776 1777 1778 1779 1780 1781 1782 1783 1784 1785 1786 1787 1788 1789 1790 1791 1792 1793 1794 1795 1796 1797 1798 1799 1800 1801 1802 1803 1804 1805 1806 1807 1808 1809 1810 1811 1812 1813 1814 1815 1816 1817 1818 1819 1820 1821 1822 1823 1824 1825 1826 1827 1828 1829 1830 1831 1832 1833 1834 1835 1836 1837 1838 1839 1840 1841 1842 1843 1844 1845 1846 1847 1848 1849 1850 1851 1852 1853 1854 1855 1856 1857 1858 1859 1860 1861 1862 1863 1864 1865 1866 1867 1868 1869 1870 1871 1872 1873 1874 1875 1876 1877 1878 1879 1880 1881 1882 1883 1884 1885 1886 1887 1888 1889 1890 1891 1892 1893 1894 1895 1896 1897 1898 1899 1900 1901 1902 1903 1904 1905 1906 1907 1908 1909 1910 1911 1912 1913 1914 1915 1916 1917 1918 1919 1920 1921 1922 1923 1924 1925 1926 1927 1928 1929 1930 1931 1932 1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945 1946 1947 1948 1949 1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039													

孔番 E-2 孔

深度 0.00m ~ 18.00m





H24-E-1

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名	E-1		調査位置		X:397.883 , Y:1125.584					北緯		35° 45' 21.04"					
発注機関	日本原子力発電株式会社					調査期間		2013 年 1 月 14 日 ~ 2013 年 1 月 26 日					東経		136° 1' 2.80"		
調査業者名			主任技師				現代場人		コ鑑ア		定者		ボーリング責任者				
孔口標高	20.72 m	角上		方		地盤勾配		使用機種	試錐機					ハンマー落下用具			
総掘削長	25.00 m	度下		向				エンジン						ポンプ			

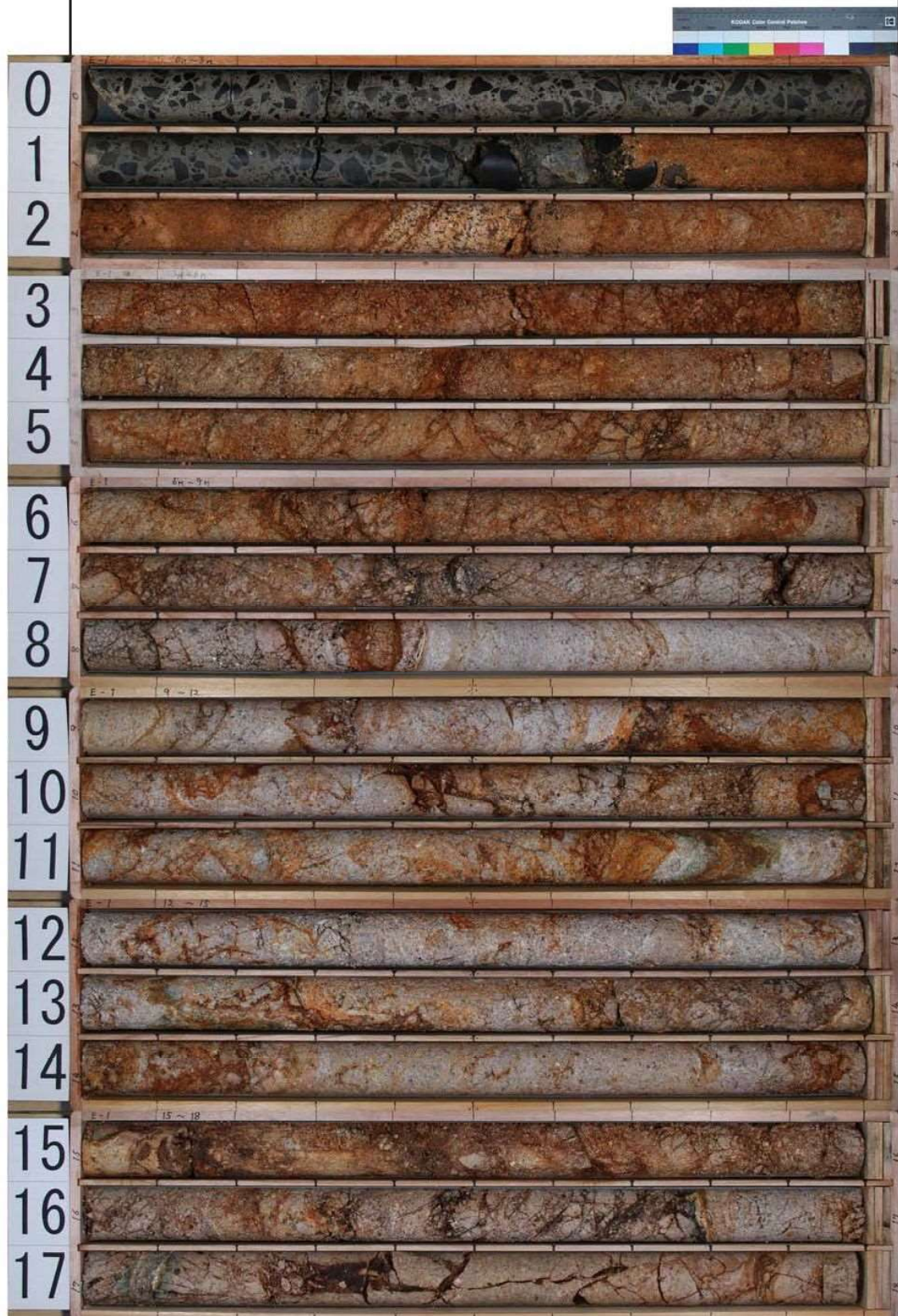
[illegible]

E-1 (2 / 2)

[illegible]

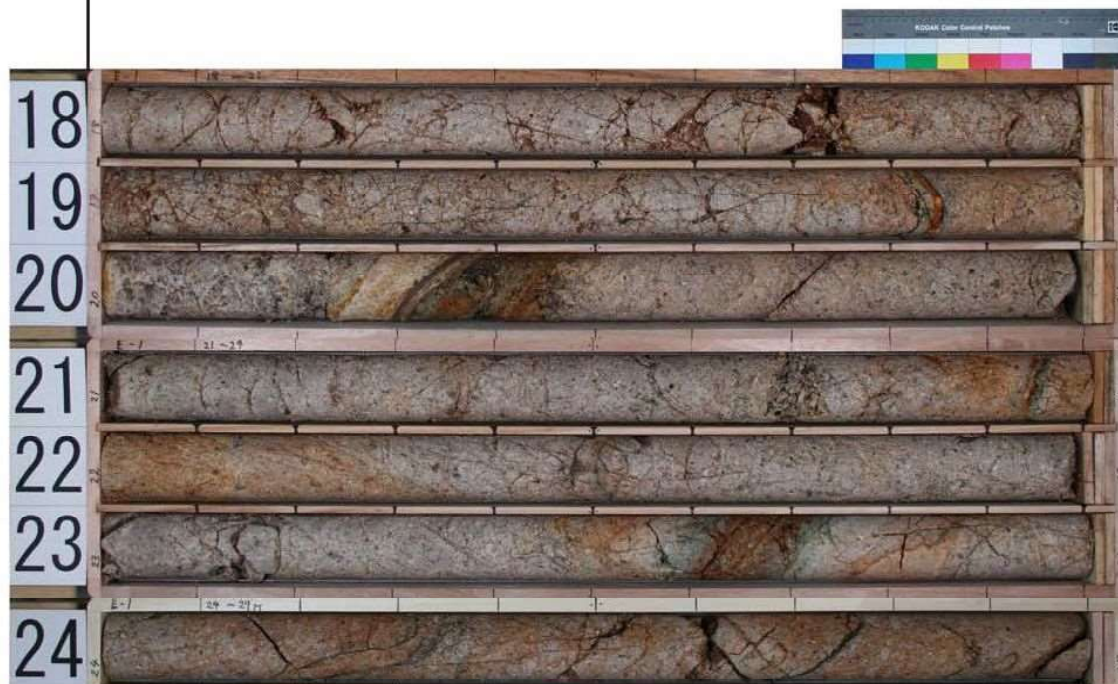
孔番 E-1 孔

深度 0.00m ~ 18.00m



孔番 E-1 孔

深度 18.00m ~ 25.00m



H24-B6-1

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

ボーリングNo. 1

ボーリング名	B6-1	調査位置	X:398.000 , Y:1116.097	北 緯	35° 45' 20.79"
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社	調査期間	2012 年 6 月 12 日 ~ 2012 年 7 月 10 日	東 経	136° 1' 3.03"
調 査 業 者 名		主任技師		現代 場 人	コ 鑑 ア 定 者
孔 口 標 高	20.59 m	角 上	180° 90° 45° 0°	方 向	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東 53.0°
総 掘 削 長	31.00 m	度 下	0° 45° 90° 180°	地 盤 勾 配	鉛 直 0° 0.0°
				使用 試 錐 機	ハンマー 落下用具
				エンジン	ポン プ

標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)							
尺	高	度	状	種	調	軟	形	目	化	質	事		級																			
(m)	(m)	(m)	図	区	分		状	の					区																			
1	19.44	1.63		コンクリート	灰						0.00～1.63m：コンクリートである。								6/18	70			0.0	泥水 10	10							
2				シルト混じり砂礫	黄褐						1.63～3.00m：砂礫主体の第四系である。 1.63～3.00m：シルト混じり砂礫である。										115 / ケーシング		0.0	泥水 5	5							
3	18.47	3.00		花崗斑岩	灰白				δ	4	礫は角～亜角礫（径2～10mm）を主体とし、基質はシルト～粗粒砂からなる。結りは悪い。 3.00～81.00m：花崗斑岩である。 石英及び長石の珪晶（径2～5mm）を5～15%程度含む。 ●3.00～4.00m：破砕部 境界は、上端は第四系との不整合、下端は変質で不明瞭。ただし下端付近を含め40～50°の放散な割れ目の一部が分布する。岩組織は残留するが割れ目の大半は消滅している。径5～20mmの角礫状岩片と岩片間の幅1～2mm網状粘土脈からなる。岩片は変質で軟化著しいが、岩組織は残留することが多い。風化は上下に比べ弱い。灰白色を呈する。 3.00～3.11m：割れ目密集部（Hj） 灰白色を呈する。 3.11～3.17m：粘土混じり角礫状破砕部（Hj） 灰白色を呈する。 3.17～3.54m：割れ目密集部（Hj） 3.54～3.67m：粘土混じり角礫状破砕部（Hj） 灰白色を呈する。 3.67～3.84m：割れ目密集部（Hj） 3.84～4.00m：粘土混じり角礫状破砕部（Hj） 灰白色を呈する。 ●6.40～6.78m：礫質粘土状破砕部（Hb） 破砕幅は29.9cmである。 浅黄橙色の粘土を含む角礫状を呈する。上端境界の傾斜は30°、下端境界の傾斜は38°である。 7.91m：幅5～10mmの褐色シルト状を呈する。傾斜50°程度である。 7.91～16.00m：全体に軟質である。岩組織は一部に認められる。 12.16m：礫混じり粘土状（幅10～25mm）を呈する。傾斜は45°程度である。 13.34～14.76m：変質しており、コアは軟質である。大半で岩組織が認められる。 ●14.76～15.58m：破砕部（D-I破砕部） 破砕幅は62.8cmである。 14.76～14.90m：礫質砂状破砕部（Hb） 黄褐色の細礫を多く含む砂状を呈する。傾斜は40°である。 14.90～14.91m：粘土状破砕部（Hc-1） 褐色の粘土状を呈する。軟質な粘土状部からなり、幅は4mmである。 14.91～15.06m：礫・砂混じり粘土状破砕部（Hc-2） 幅110mm。灰白色。 15.06～15.58m：礫質砂状破砕部（Hb） 15.06～15.52m：暗褐色～灰白色の砂状部が網目状に分布する。 15.52～15.53m：傾斜30°、幅5～30mmの黄色粘土を挟む。 15.56m：傾斜48°、幅1～3mmのマンガンを挟む。 16.00～18.33m：割れ目が多い。コアはやや脆い。	2		▽ 5.71 ▽ 6.22																		
4				浅黄橙	Eg	Vg	dg		ε	3									6/19	110		4.0										
5				浅黄橙	Dg	Vg	cg																									
6				浅黄橙	Eg	Vg	dg			4												0.0	泥水 1	1								
7				浅黄橙	Dg	Vg	cg																									
8				浅黄橙	Eg	Vg	dg			3																						
9				浅黄橙	Dg	Vg	cg																									
10				浅黄橙	Eg	Vg	dg			4																						
11				浅黄橙	Dg	Vg	cg																									
12				浅黄橙	Eg	Vg	dg			3																						
13				浅黄橙	Dg	Vg	cg			δ																						
14				浅黄橙	Eg	Vg	dg			3																						
15				浅黄橙	Dg	Vg	cg			4																						
16				浅黄橙	Eg	Vg	dg																									
17				浅黄橙	Dg	Vg	cg			3																						
18				浅黄橙	Eg	Vg	dg																									
19				浅黄橙	Dg	Vg	cg																									
20				浅黄橙	Eg	Vg	dg			2																						
21				浅黄橙	Dg	Vg	cg																									
22				浅黄橙	Eg	Vg	dg			3																						
23				浅黄橙	Dg	Vg	cg																									
24				浅黄橙	Eg	Vg	dg																									

B6-1 (2 / 4)

標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コア採取率	岩	孔内水位	(	(	標準貫入	)	試験	原位置試験	室内	掘	掘	孔	給	回	送	送	排
尺	高	度	状	種	調	軟	ア	れ	化	質	事	最大コア長	級	内	N	N	N	値	図	試	試	進	進	径	水	送	水	水	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	形状	目	質			R	区	水	(	(	(	(	(	試	験	速	速	径	圧	水	水	量	
(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	形状	目	質			R	区	水	(	(	(	(	(	試	験	速	速	径	圧	水	水	量	
26																													
27																													
28																													
29																													
30																													
31																													
32																													
33																													
34																													
35																													
36																													
37																													
38																													
39																													
40																													
41																													
42																													
43																													
44																													
45																													
46																													
47																													
48																													
49																													

B6-1 (3 / 4)

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化質	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ ／ビット	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)
														(N値～深度)	図										
51				花崗斑岩	灰褐色	IVg 																			

B6-1 (4 / 4)

[illegible]



孔番 B6-1 孔

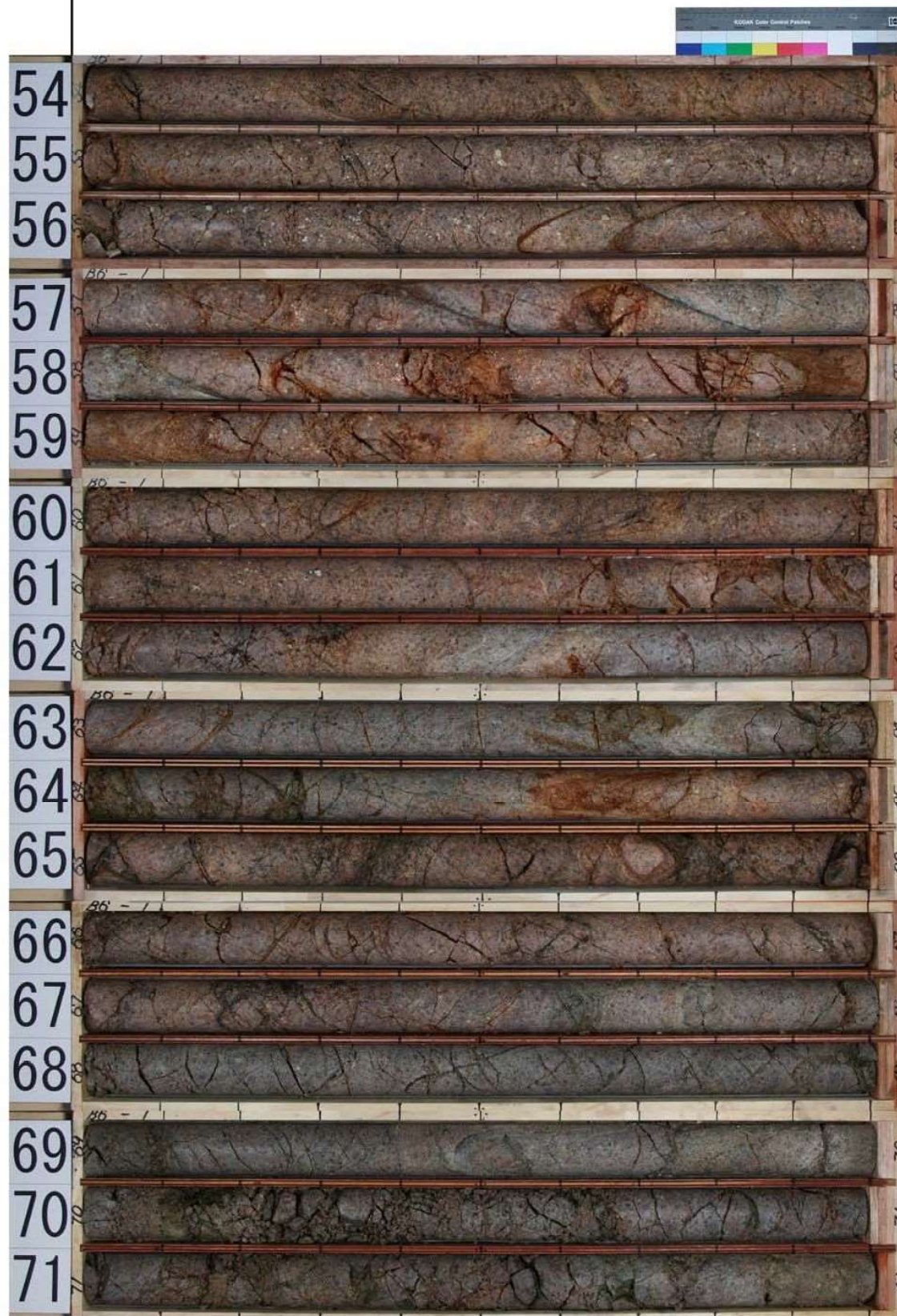
深度 18.00m ~ 36.00m

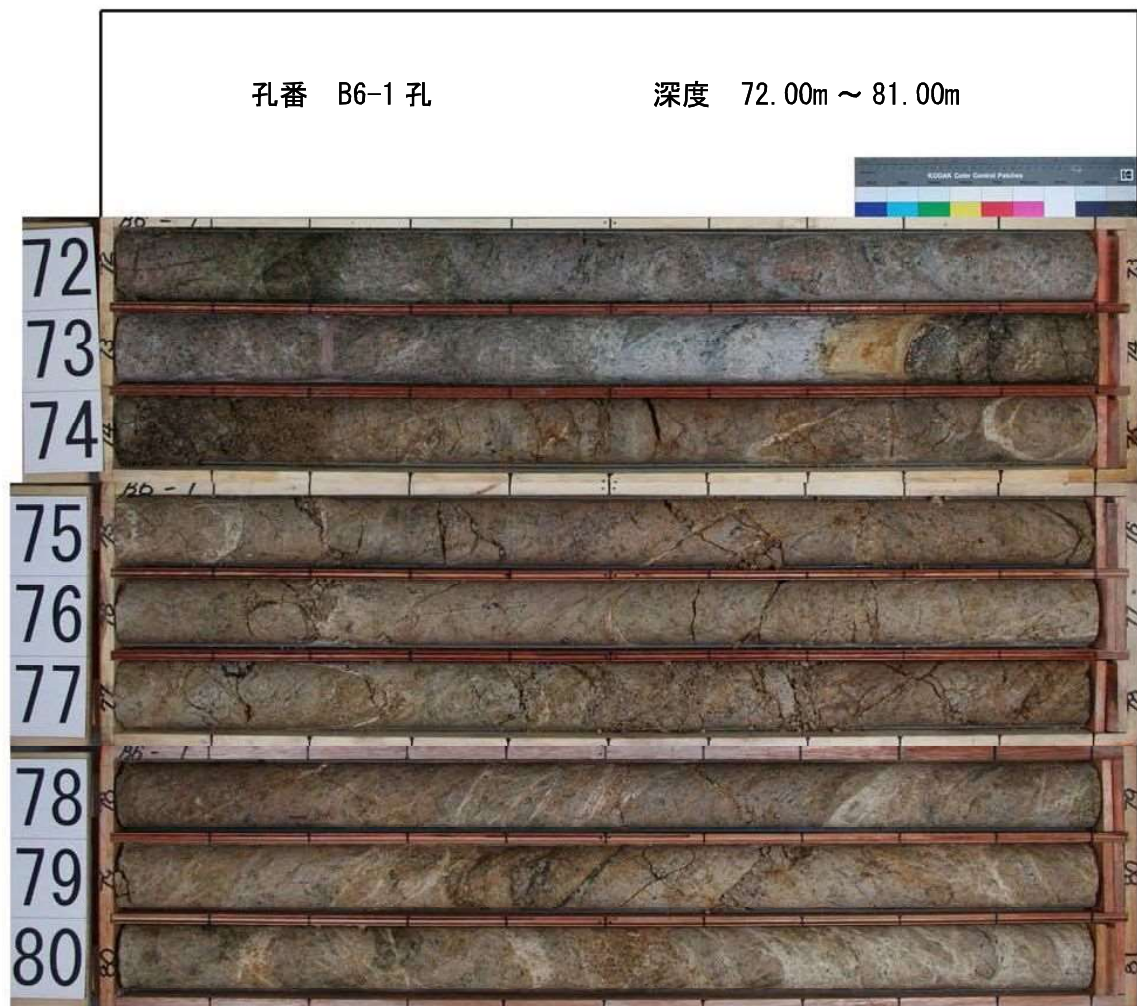




孔番 B6-1 孔

深度 54.00m ~ 72.00m





H27-F-1

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名	F-1		調査位置		X: 390.450, Y: 1114.190					北緯		35° 45' 20.60"				
発注機関	日本原子力発電株式会社					調査期間		2015 年 5 月 21 日 ~ 2015 年 5 月 30 日					東経		136° 1' 2.83"	
調査業者名			主任技師				現代場代理人		コ鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	19.83 m	角上	180°	方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機		ハンマー落下用具					
総掘削長	26.00 m	度下	6°						鉛直		90°	0.0°	エンジン		ポンプ	

[illegible]

F-1 (2 / 2)

[illegible]

孔番：F-1

深度 0.00m~18.00m



孔番：F-1

深度 18.00m ~ 26.00m



H24-B'-1

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

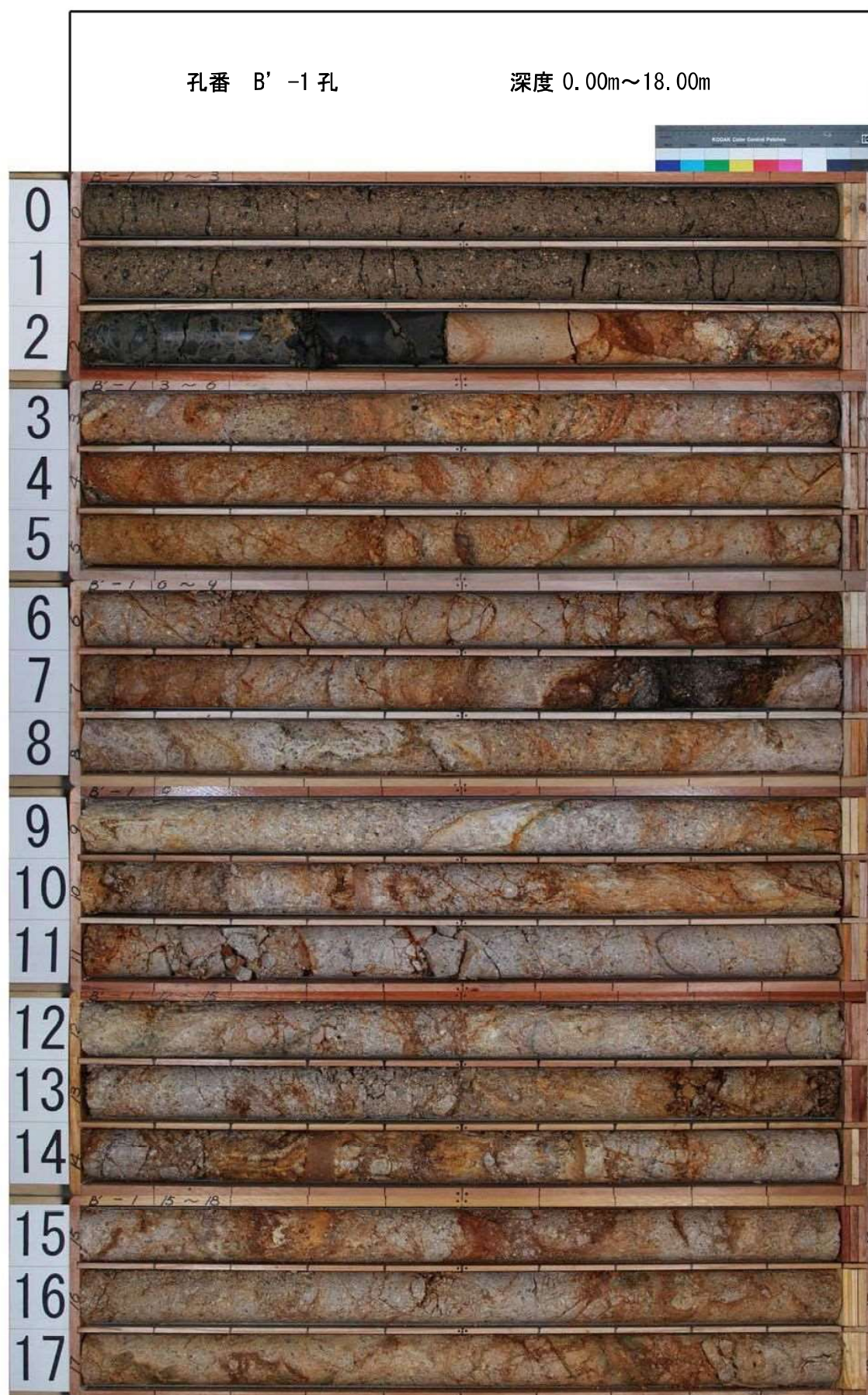
[illegible]

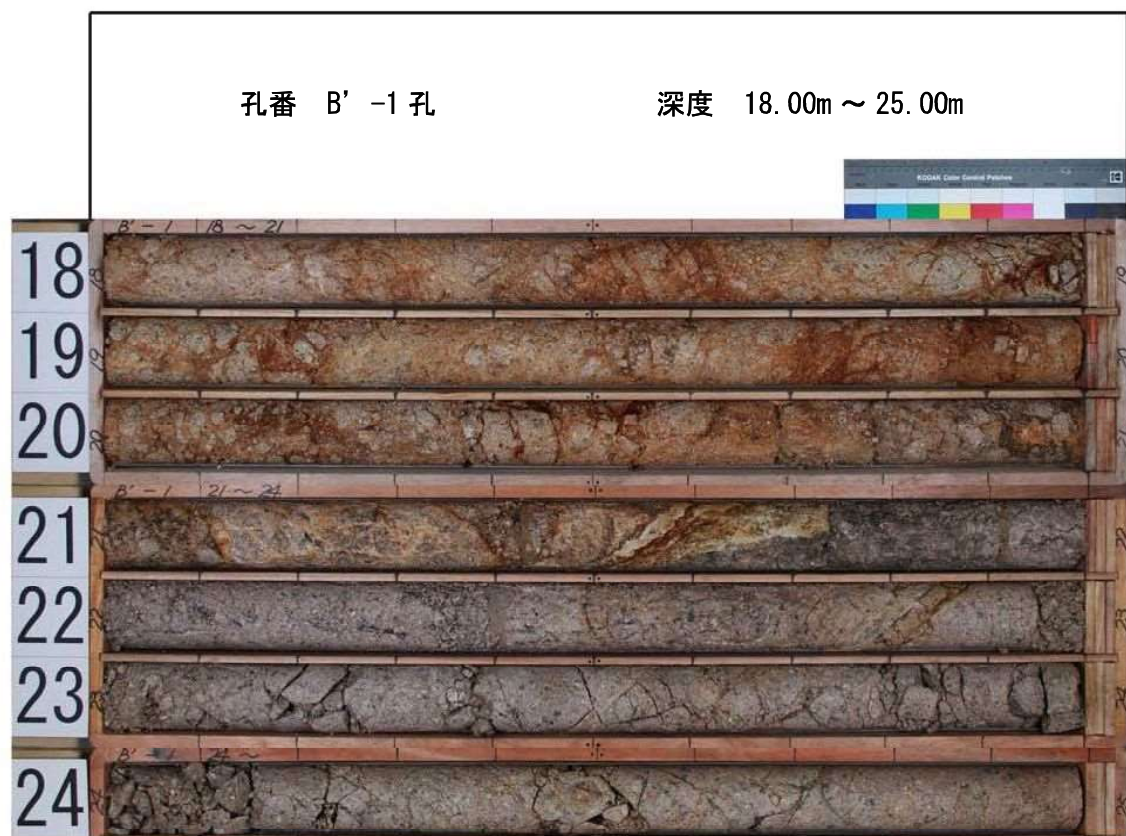
ボーリング名	B'-1		調査位置		X:392.852 , Y:1116.097				北緯	35° 45' 20.69"				
発注機関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2013 年 1 月 9 日 ~ 2013 年 1 月 25 日				東経	136° 1' 2.86"			
調査業者名			主任技師				現代場 代理人	コ鑑ア 鑑定者		ボーリング 責任者				
孔口標高	19.89 m	角 上			方 向			地盤勾配 鉛直			使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具	
総掘削長	25.00 m	度 下	0°								エンジン	ポンプ		

[illegible]

B'-1 (2 / 2)

標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩	孔内水位 (m) 測定月日	(N 値) 値	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内 試験	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) ／ 孔 壁 保 護	給 水 圧 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
尺	高	度	状	区	調	軟	ア	れ	化	質	事		級						月	壁	数	水	水	
(m)	(m)	(m)	図	分	分	状	形	目	質				区						日	保	(	量	量	
								の					分							護	MPa	(	(	
								状													)	)	)	
								態													)	(	(	
								化													)	(	(	
								質													)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	
																					)	(	(	





H24-B'-2

B' -2 (1 / 2)

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

[illegible]

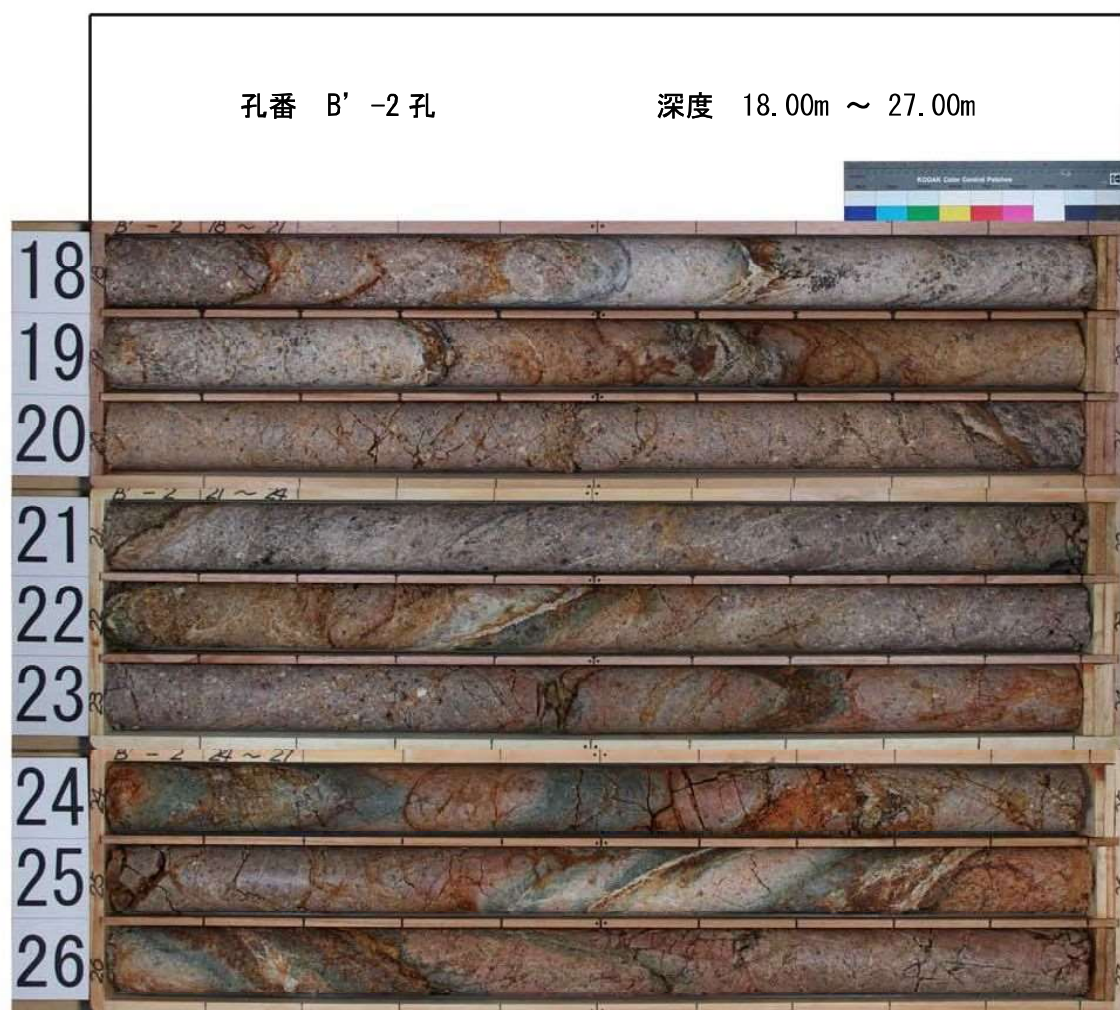
ボーリング名		B'-2		調査位置		X:392.142 , Y:1116.097						北緯		35° 45' 20.68"							
発注機関		日本原子力発電株式会社						調査期間		2013 年 1 月 31 日 ~ 2013 年 3 月 7 日						東経		136° 1' 2.86"			
調査業者名				主任技師				現代場代理人				コ鑑定者				ボーリング責任者					
孔口標高		19.87 m		角上				方		北 0° 西 270° 南 180° 東 90°		地盤勾配				使用機種		試錐機		ハンマー 落下用具	
総掘削長		27.00 m		度下				向		鉛直 90° 水平 0°						エンジン		ポンプ			

[illegible]

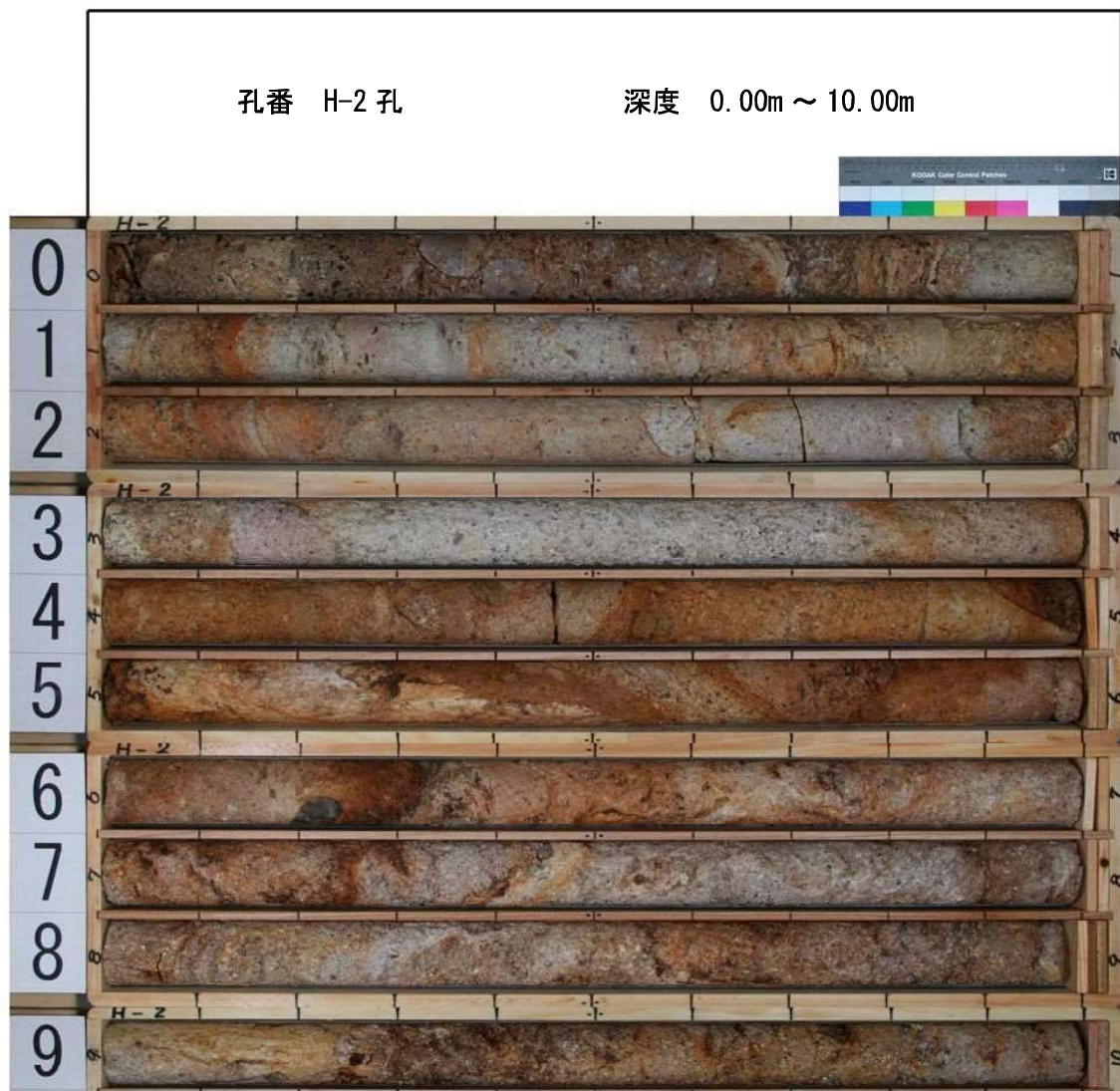
B' -2 (2 / 2)

[illegible]





H24-H-2



H24-B'-7

ボーリング柱状図

調 査 名

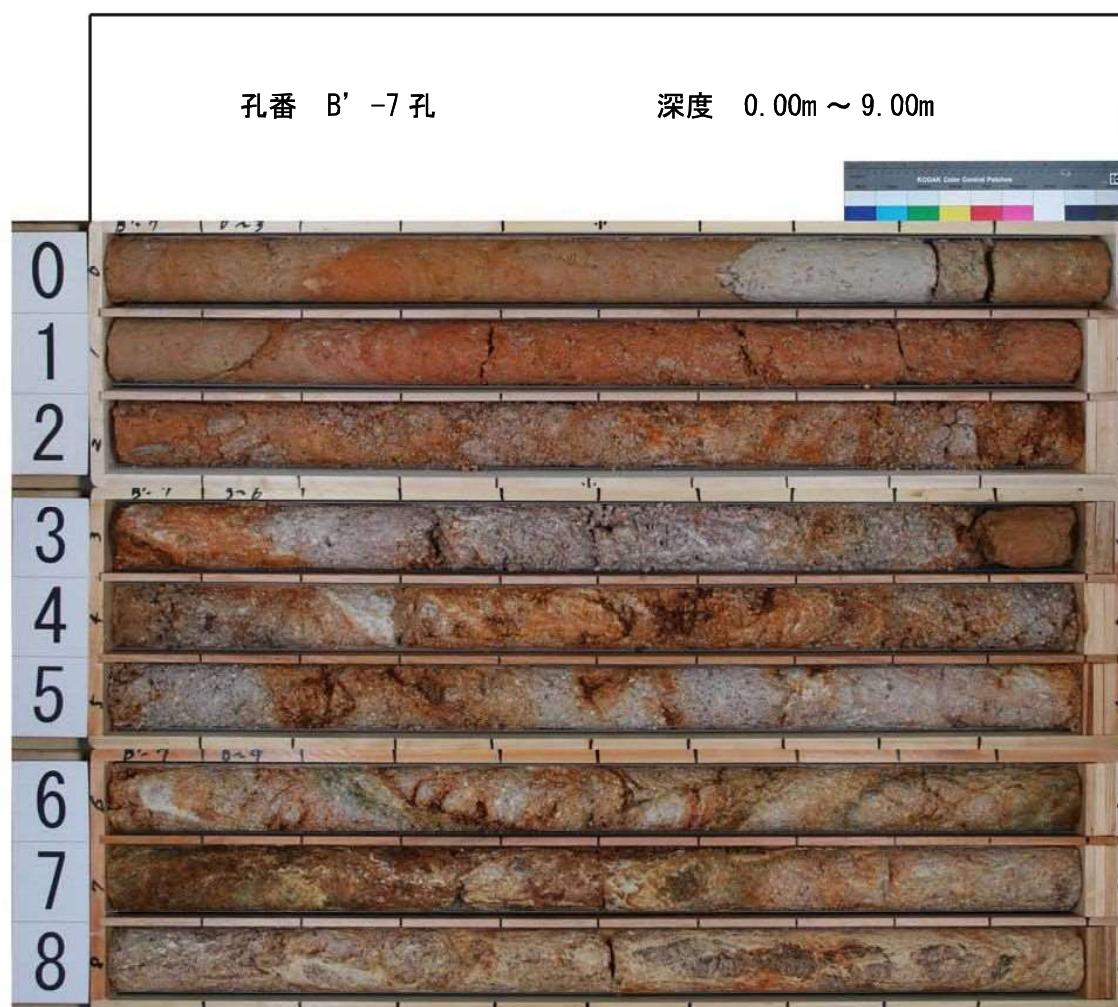
事業・工事名

ボーリングNo.

1

ボーリング名	B'-7			調査位置	X:401.266 , Y:1112.572					北 緯	35° 45' 20.76"					
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社					調査期間	2013 年 1 月 27 日 ~ 2013 年 1 月 31 日					東 経	136° 1' 3.22"			
調 査 業 者 名				主任技師			現代 場 代理人	コ 鑑 定 者			ボーリング責任者					
孔 口 標 高	20.20 m	角		方		地盤勾配		使用機種	試 錐 機			ハンマー落下用具				
総掘削長	9.00 m	度		向		鉛直		エンジン	ポン プ							

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状態	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給水圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)		
													(N) 値	(N値~深度) 図												
1	19.00	1.20		砂混じり粘土 灰白					0.00~2.37m: 砂混じり粘土主体 (②層) 0.00~1.20m: 砂混じり粘土 縛まった粘土。礫を少量含む。 ●0.62m: せん断面 (K断層) 傾斜60°でシャープに連続 (K断層))。マンガン鉱染部に沿って発達。 1.20~2.37m: 砂混じり砂質粘土 傾斜40°程度で基盤岩と接する。					0				150		6.4	60	0.1	泥水5	0		
2	17.83	2.37		砂混じり砂質粘土 明赤褐					2.37~9.00m: 花崗斑岩 (Gp) 斑晶は径1~5mmの石英、長石。 2.37~8.15m: 径5~20mmの岩片と一部粘土化した砂状の基質からなる。 割れ目は大半が消滅する。 3.03m: 傾斜60°で幅8~10mmの明黄褐色粘土を挟む。 4.25m: 白色粘土を挟む。傾斜50°程度で波打つ。幅7~10mm。 6.04~6.07m: 傾斜70~75°、幅10~35mmの白色粘土を挟む。 6.31m: 傾斜50~70°、幅1~2mmの白色粘土を挟む。上端側幅30~50mmが緑色化する。 6.87m: 傾斜70°、幅2~4mmの明黄褐色粘土を挟む。								1/27	170		86		6.8	70	0.1	泥水6	0
3				花崗斑岩 明灰褐 明黄褐 明灰褐																6.7	75					
4				花崗斑岩 明灰褐 明黄褐 明灰褐																	6.7	70				
5				花崗斑岩 明灰褐 明黄褐 明灰褐																	6.7	70				
6				花崗斑岩 明灰褐 明黄褐 明灰褐																	6.7	70				
7				花崗斑岩 明灰褐 明黄褐 明灰褐																	6.7	70				
8	11.20	9.00		砂混じり粘土 明灰褐 明黄褐 明灰褐 浅黄橙					●8.15~9.00m: 破砕部 粘土混じり礫状破砕部 (H) 上端70°で著しく湾曲し連続性が悪い。全体に粘土化が著しく、径10mm前後の岩片主体。岩片間を白色~淡黄色の粘土が充填する。									1/28	150			6.7	85	0.1	泥水6	0



H24-B'-3

B' -3 (1 / 2)

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

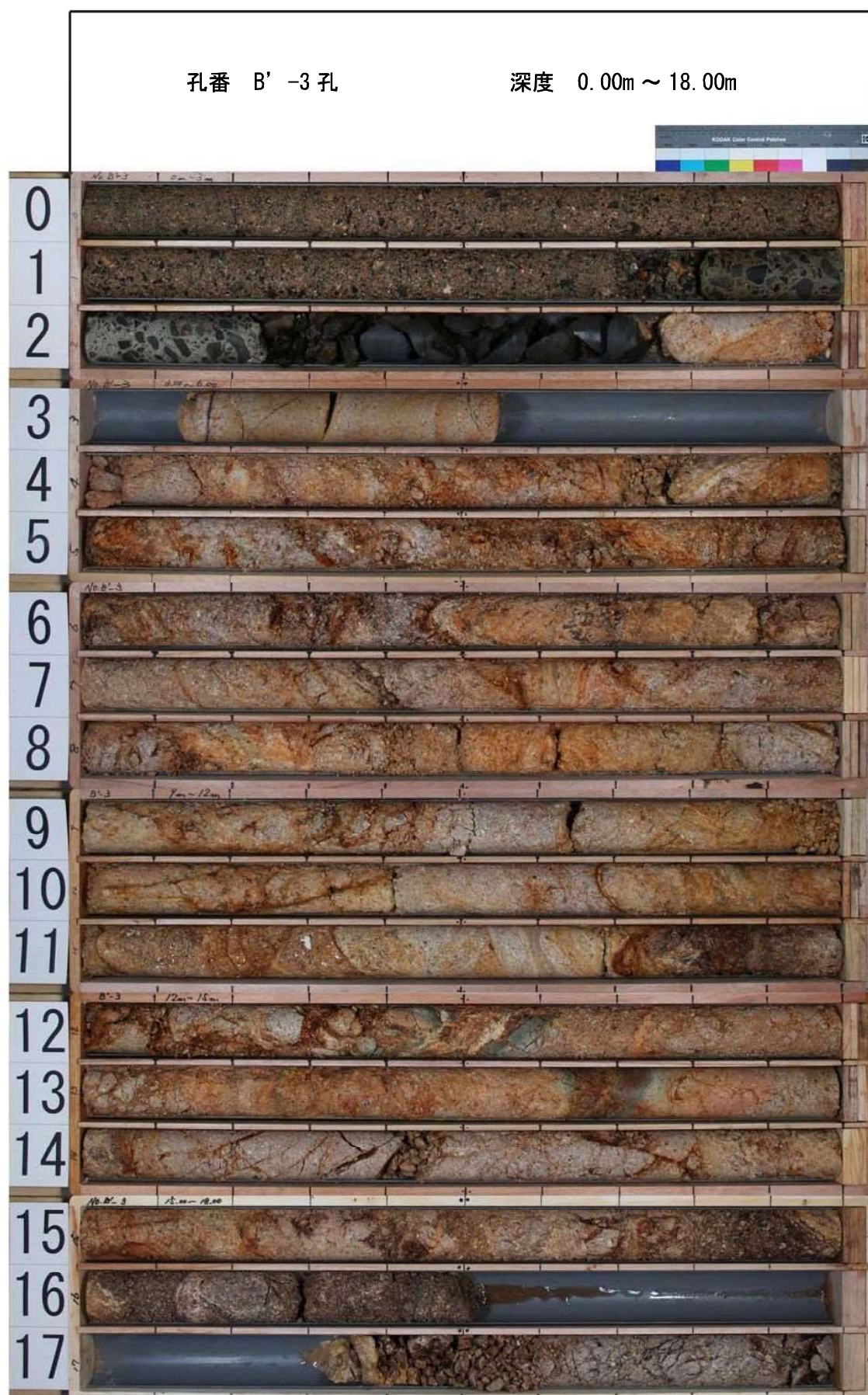
[illegible]

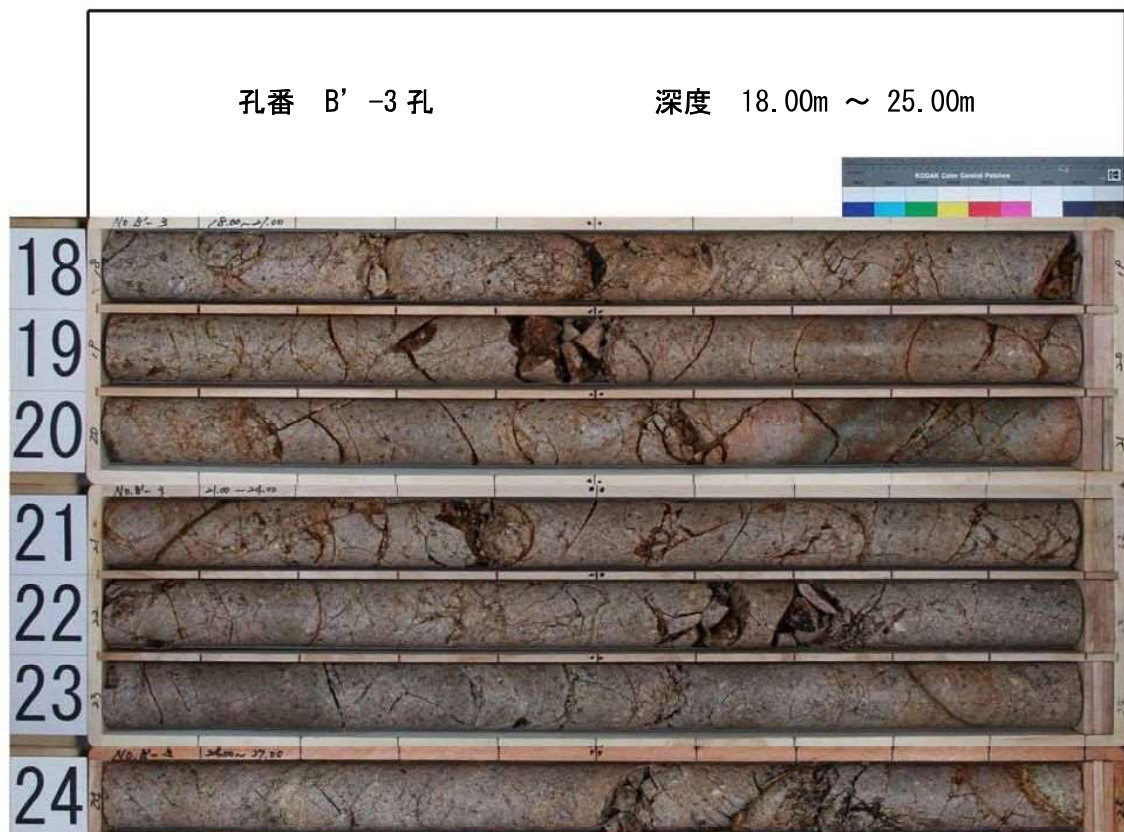
ボーリング名	B'-3		調査位置		X:392.852 , Y:1112.000				北 緯	35° 45' 20.59"		
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2013 年 1 月 14 日 ~ 2013 年 1 月 26 日				東 経	136° 1' 2.96"	
調 査 業 者 名			主任技師				現代 場 代理人	コ 鑑 定 者		ボーリング責任者		
孔 口 標 高	19.88 m	角 上	180° 	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 90° 180° 南 53.0° 	地盤勾配	鉛 垂 水平 0° 	使用機種	試 錐 機	ハンマー 落下用具		
総 掘 削 長	25.00 m	度 下	45° 0'					エンジン	ポン プ			

[illegible]

B' -3 (2 / 2)

[illegible]





H24-H-6-1

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

ボーリングNo.

1

ボーリング名	H-6-1		調査位置	X:405.817 , Y:1107.369				北緯	35° 45' 20.72"		
発注機関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2013 年 3 月 8 日 ~ 2013 年 3 月 11 日			東経	136° 1' 3.48"	
調査業者名			主任技師			現代場代理人	コ鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	20.39 m	角	180° 上		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配		使用機種	ハンマー 落下用具	
総掘削長	15.00 m	度	下	6°	向	233.0°	鉛直 90° 水平 0.0°	エンジン	ポンプ		

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図 (N) 値		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)										
1																																					
2																																					
3																																					
4																																					
5																																					
6																																					
7																																					
8																																					
9	14.03	9.00		花崗斑岩	褐	Eg	ε	4	9.00～15.00m：花崗斑岩 (Gp) 9.00～9.50m：土砂状を呈する。粗い石英粒が目立つ。全体にマシオン及び酸化鉄の付着が著しい。 ●9.58～14.36m：破砕部 (K断層) 9.58～9.59m：砂混じり粘土状破砕部 (Ho-1) 傾斜75°。含水多く軟質。粘土化がすすみ塑性的変形をする。明黄褐色を呈する。幅5～10mm。 9.59～10.50m：確質粘土状破砕部 (Hb) 上端75°、下端20°でいずれも直線的。灰白色を呈する。10.14～10.21m間にはほぼ85°の角度で幅5～10mmの砂混じり粘土状破砕部が挟在する。Ho-1に相当し明黄褐色を呈する。せん断面はない。10.21mに傾斜85°のせん断面。 10.50～13.59m：粘土混じり礫状破砕部 (Hj) 上端20°、下端不明瞭。径20～30mmの岩片主体の砂礫状を呈する。10.50mの割れ目を境に多少粘土化が弱くなるが大差はない。しかし、これ以後粘土化は弱くなり、マサ状の岩盤に漸移する。明褐灰～褐色を呈する。 13.59～13.77m：確質粘土状破砕部 (Hb) 上端不明瞭。下端不明瞭。明褐灰色を呈する。13.59～13.67m間は石英粒が多いが軟質な粘土で充填されている。13.72mに幅3mm程度の軟質粘土 (45°、明黄褐色) 挟み、その上下も強く粘土化している。 13.77～14.36m：粘土混じり礫状破砕部 (Hj) 上端不明瞭。下端20°。明褐灰色を呈する。																												
10					灰白					dg	δ	3																									
11					明褐灰								Dg	δ	3																						
12					褐灰											Eg	δ	3																			
13					明褐灰														Dg	δ	3																
14																																					
	9.78	15.00																																			

孔番 H-6-1 孔

深度 9.00m ~ 15.00m



0～9mノンコア



H24-H-3

ボーリング柱状図

調 査 名

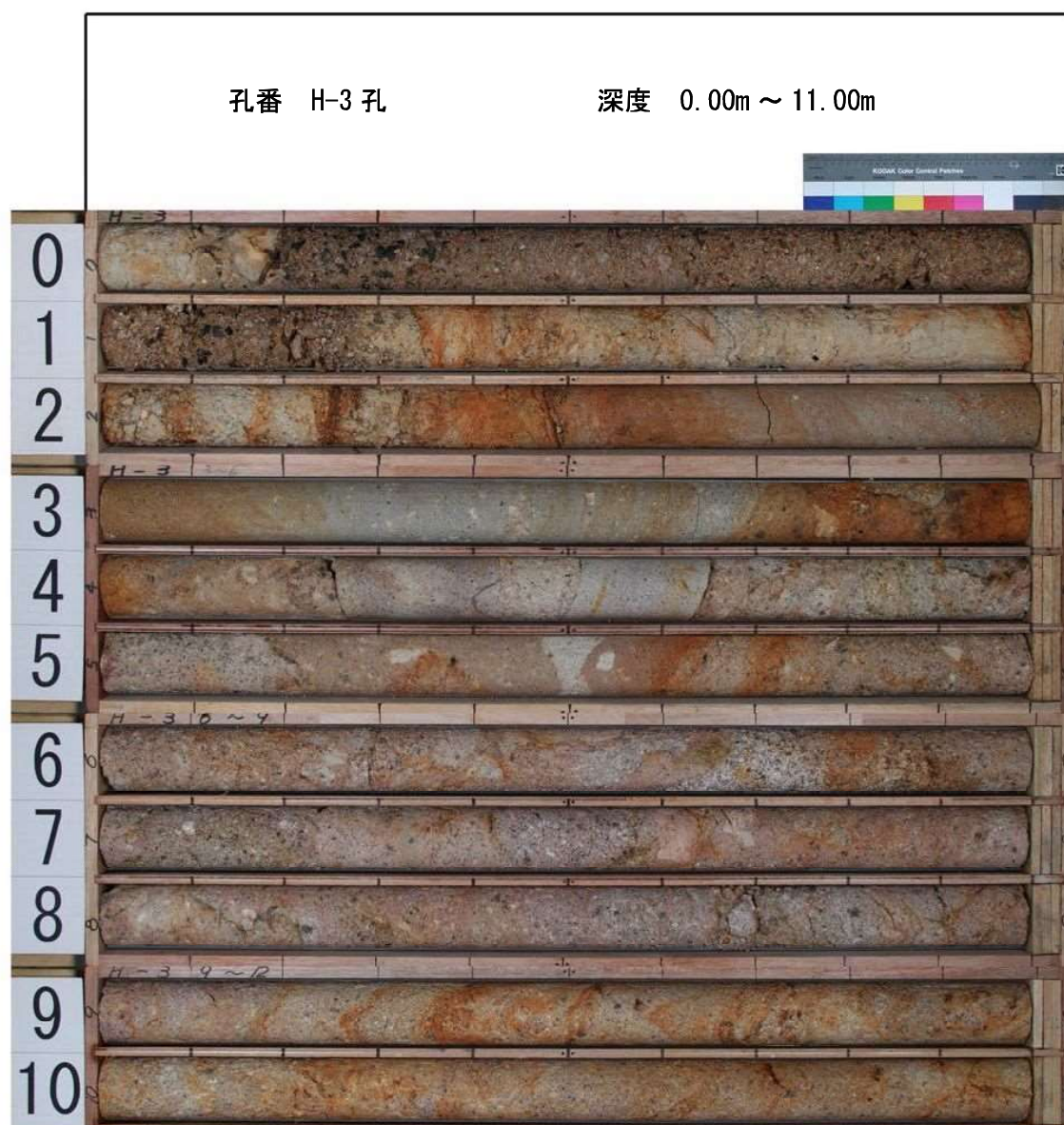
事業・工事名

ボーリングNo.

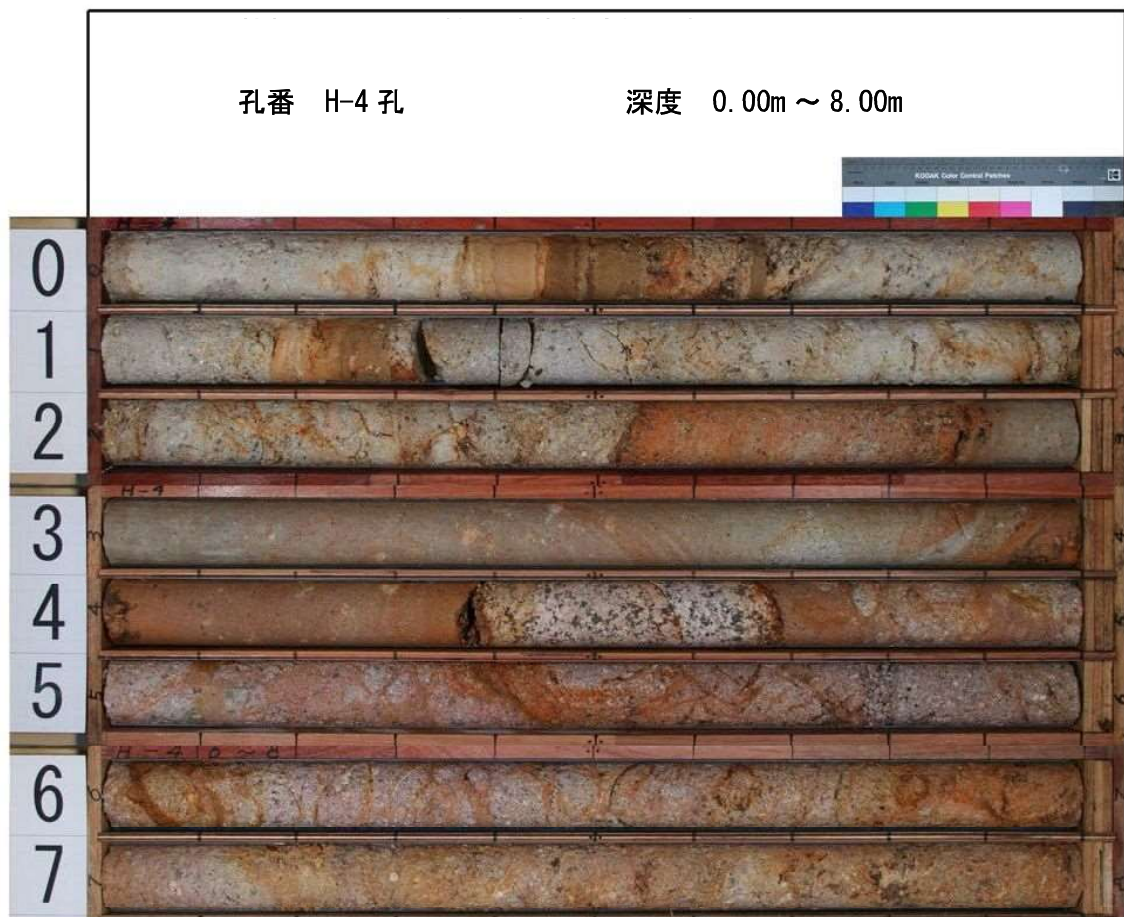
1

ボーリング名	H-3	調査位置	X:400.670 , Y:1106.919	北 緯	35° 45' 20.61"
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社	調査期間	2013 年 2 月 21 日 ~ 2013 年 2 月 23 日	東 経	136° 1' 3.33"
調 査 業 者 名		主任技師		現代 場 人	
コ ー ン 定 者		ボーリング責任者			
孔 口 標 高	22.97 m	角 度		方 向	
地 盤 勾 配		水平 0°		使用 機 種	
鉛 重		試 錐 機		ハンマー 落下用具	
総 掘 削 長	11.00 m	度		ポン プ	

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	変 質 化	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) / 測 定 月 日	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔 内 水 平 載 荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	コ ア チューブ / ビット	給 水 圧 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)			
													(N 値 ~ 深度) 図	(N 値)												
(m)	(m)	(m)												0 10 20 30 40 50												
1	21.70	1.27		埋 土	淡 黄				0.00~1.27m: 埋土 0.00~0.20m: 砂 0.20~1.27m: 砂礫 礫は径5~20mm。基質は中~粗砂。	0																
2	20.49	2.48		礫 混 じ り 砂	明 褐				1.27~2.48m: 礫混じり砂 (3層) 砂は細~粗砂で不均質。花崗斑岩のクサリ礫が混じる。 1.77~1.98m: シルト~細砂が優勢	0								95								
3	19.27	3.70		シルト質砂	灰 白				2.48~7.95m: シルト質砂及び玉石混じり砂礫 (2層)。 2.48~3.70m: シルト質砂 基質は砂を主体とし、シルト分が混じる。 径2~4mmの細礫が混じる。 2.48~2.75m: 粘土分を多く含む。 3.24~3.70m: 径5~20mmの岩片と石英が混じる。 3.70~7.95m: 玉石混じり砂礫 礫は径2~5mmの石英を主とする細礫。径10~40mmの花崗斑岩で垂角礫が多い。最大径150mm程度の玉石が混じる。礫は半クサリ~クサリ礫。 ●5.39m: せん断面 (K断面) 傾斜50°。酸化帯を切る。	0							2/20	86	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	2.0	100	0.1	泥水	1		
4				明 褐						0								95								
5				玉石混じり砂礫	明 褐					0																
6				灰 褐						0																
7				灰 褐						0																
8	15.02	7.95		花崗斑岩	灰 褐	Eg	vg	dg	γ	7.95~11.00m: 花崗斑岩 (Gp) 風化・変質による岩盤劣化部で一部硬質部や礫状の岩片を残す。灰白色の硬質粘土脈や一部の割れ目沿いに淡褐色の粘土を不規則に伴う。 9.12m以深: 酸化汚染を強く受け、礫状の酸化帯がみられる。	0							2/21	100	86	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	2.0	100	0.1	泥水	1
9				明 黄 褐		Eg	vg	dg	δ		0															
10	11.97	11.00			灰 褐	Dg	vg	cg			0															



H24-H-4



H24-H-5

ボーリング柱状図

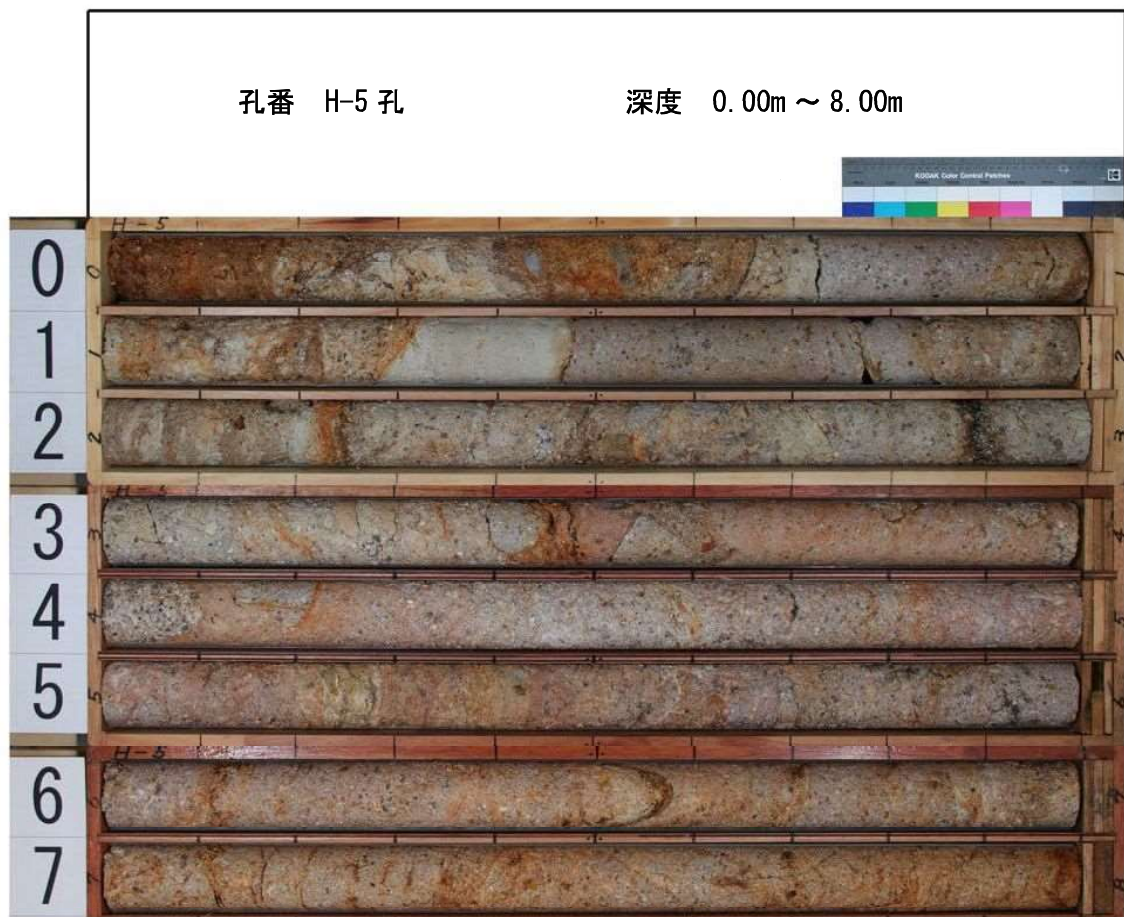
調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名		H-5		調査位置		X:403.817 , Y:1106.919						北緯		35° 45' 20.67"									
発注機関		日本原子力発電株式会社						調査期間		2013 年 2 月 19 日 ~ 2013 年 2 月 20 日						東経		136° 1' 3.43"					
調査業者名				主任技師				現代場代理人				コ鑑定者				ボーリング責任者							
孔口標高		22.34 m		角上				方		北 0° 270° 西 180° 南 90° 東		地盤勾配				使用機種		試錐機		ハンマー 落下用具			
総掘削長		8.00 m		度下		0°		向								エンジン		ポンプ					

[illegible]



H24-H-6

ボーリング柱状図

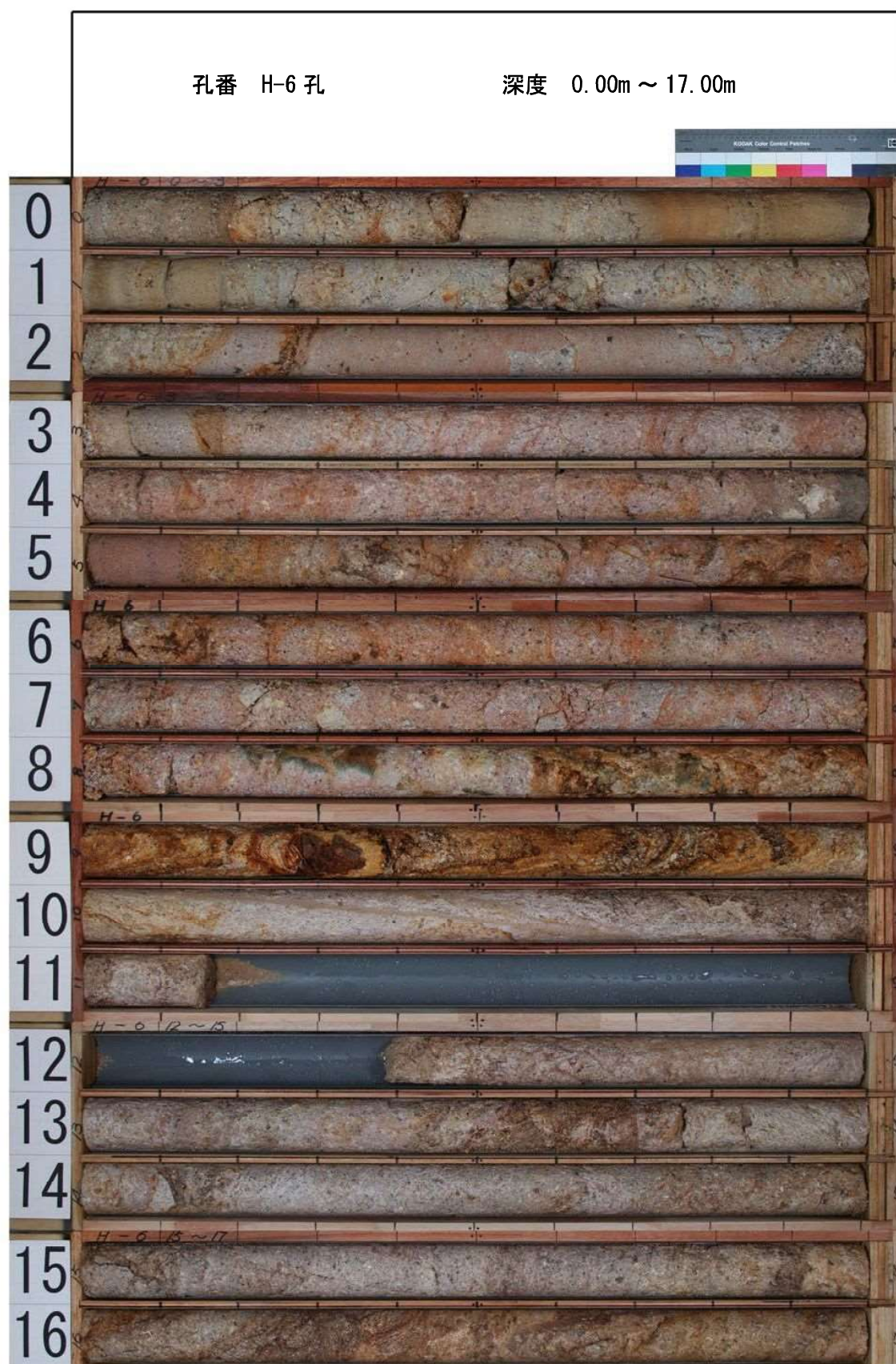
調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名	H-6		調査位置		X:405.817 , Y:1106.919					北緯	35° 45' 20.71"	
発注機関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2013 年 2 月 28 日 ~ 2013 年 3 月 7 日				東経	136° 1' 3.49"	
調査業者名			主任技師		現代場 代理人		コ 鑑 定 者		ボーリング 責任者			
孔口標高	20.34 m	角 上	180° 	方 向		地盤 勾配		使用 機種	試錐機	ハンマー 落下用具		
総掘削長	17.00 m	度 下	0° 45' 0"						エンジン	ポンプ		

[illegible]



H27-F-5

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名	F-5		調査位置		X: 390.450, Y: 1104.190					北緯		35° 45' 20.34"		
発注機関	日本原子力発電株式会社					調査期間	2015 年 5 月 20 日 ~ 2015 年 5 月 30 日					東経	136° 1' 3.07"	
調査業者名			主任技師				現代場	コ鑑ア				ボーリング責任者		
孔口標高	19.84 m	角上	180°	方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具				
総掘削長	26.00 m	度下	61°						40.0°	エンジン	ポンプ			

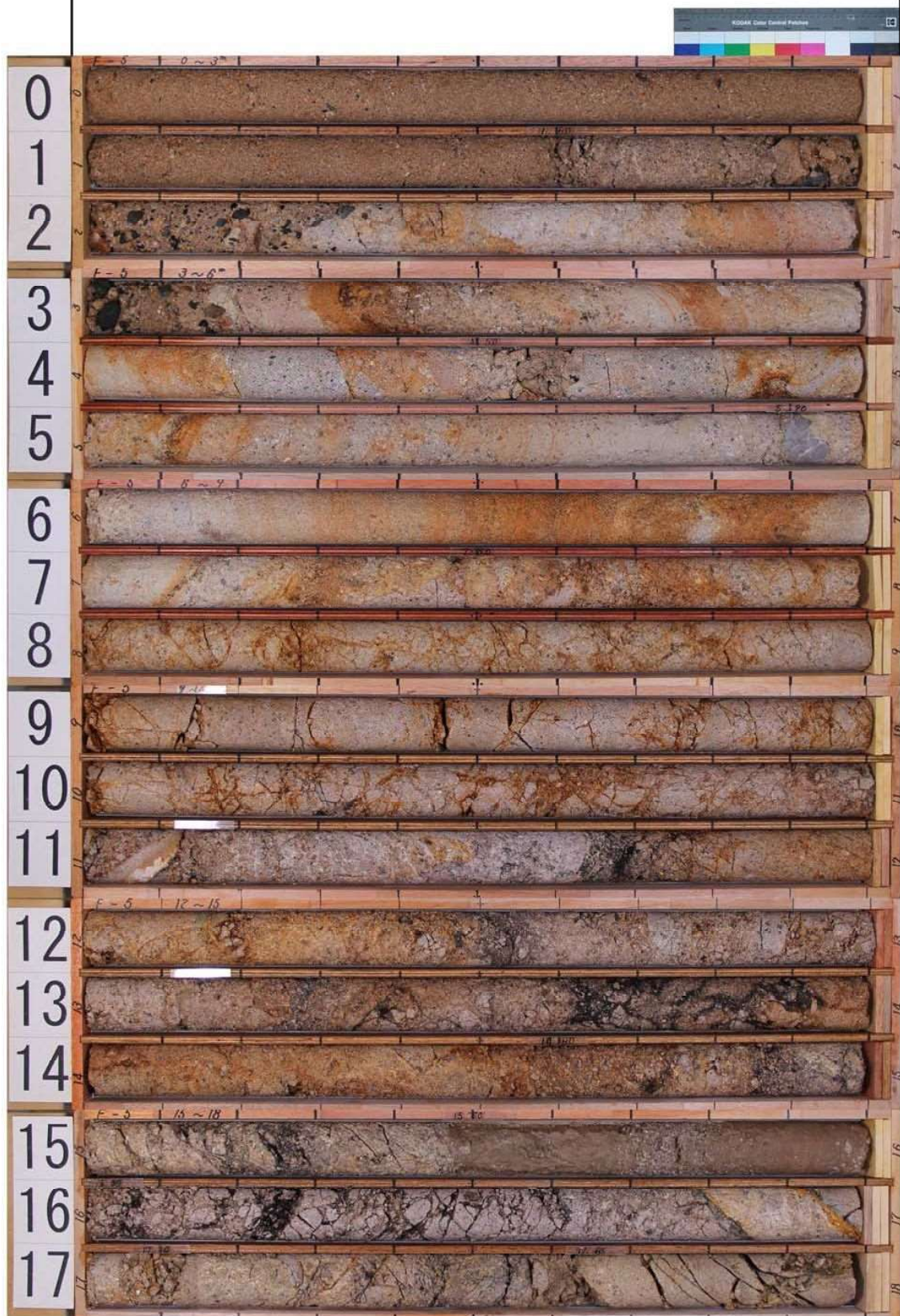
標	標	深	柱	岩	色	硬	コ	割	風	変	記	コア採取率 →(%) 最大コア長 →cm R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔内水位(γ)/測定月日	(標準貫入)試験 (N値~深度)図	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 (cm/時)	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチューブノック保護	給 圧 (kN MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)
尺	高	度	状	区	調	軟	状	目	の	状	化	事															
(m)	(m)	(m)	図	分				の	状	態	質																
1				埋土	にぶい 黄褐							0.00~2.30m: 埋土である。 0.00~1.60mは、粗粒砂、礫混じり砂からなり、1.60~2.30mは、砕石、礫混じり砂、砂礫からなる。	0							0	0	0	0	0	0		
2	18.08	2.30			にぶい 黄褐							2.30~7.64m: 上部は砂質土、下部は砂礫主体の第四系である。 2.30~3.16m: 礫混じり砂である。 3.00~3.16mは埋土の崩落土砂である。	0						5/22	257		100ノッキング					
3	17.42	3.16			灰黄 にぶい 黄							3.16~3.36m: シルトである。 3.36~3.58m: 礫混じり砂である。 3.58~3.76m: シルトである。	0							257							
4	17.27	3.36			砂礫							3.76~4.08m: 礫混じり砂である。 径2~5mmの石英粒と長石粒を礫率20%で含む粗粒砂からなる。 3.58~3.76m: シルトである。 一部で幅20mmの細粒砂を挟む。	0						5/23	239							
5	17.10	3.58			明褐 灰							3.76~4.08m: 砂である。 中粒砂からなる。 4.08~6.20m: 砂礫である。 径5~140mmの硬質~半クサリ礫化した花崗斑岩の亜角礫からなり、礫率は30~50%である。基質は中粒~粗粒砂からなる。	0							240							
6	16.96	3.76			明黄褐							6.20~6.48m: 砂質シルトである。 6.48~6.87m: 礫混じり砂である。 径2~3mmの石英粒を10~20%含む。 下礫境界の傾斜は40°である。 6.87~7.12m: 砂質シルトである。 下礫境界の傾斜は40°である。 7.12~7.64m: 砂礫である。	0							180							
7	16.71	4.08			明黄褐							7.64~26.00m: 花崗斑岩である。 10.07~20.57mは風化、変質、礫砕で軟化が著しい。これ以外には岩片状~短柱状コアが主体となる。 ●11.02~11.63m: 破砕部 11.02~11.05m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5~10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土~粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1~4cm。 11.05~11.07m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端とも55°直線的に連続。径2~5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5~10mm。 11.07~11.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端55°、下端47°で直線的であるが不連続。径5~10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。 灰白~にぶい黄褐色を呈する。幅2.5~3cm。 11.10~11.63m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端47°、下端25°で直線的に連続。径3~5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網状に分布する。にぶい黄褐色を呈す	0							5/25	172		86配水				
8	15.09	6.20			灰白							7.64~26.00m: 花崗斑岩である。 10.07~20.57mは風化、変質、礫砕で軟化が著しい。これ以外には岩片状~短柱状コアが主体となる。 ●11.02~11.63m: 破砕部 11.02~11.05m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5~10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土~粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1~4cm。 11.05~11.07m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端とも55°直線的に連続。径2~5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5~10mm。 11.07~11.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端55°、下端47°で直線的であるが不連続。径5~10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。 灰白~にぶい黄褐色を呈する。幅2.5~3cm。 11.10~11.63m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端47°、下端25°で直線的に連続。径3~5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網状に分布する。にぶい黄褐色を呈す	0							5/25	160						
9	14.88	6.48			にぶい 黄褐							7.64~26.00m: 花崗斑岩である。 10.07~20.57mは風化、変質、礫砕で軟化が著しい。これ以外には岩片状~短柱状コアが主体となる。 ●11.02~11.63m: 破砕部 11.02~11.05m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5~10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土~粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1~4cm。 11.05~11.07m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端とも55°直線的に連続。径2~5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5~10mm。 11.07~11.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端55°、下端47°で直線的であるが不連続。径5~10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。 灰白~にぶい黄褐色を呈する。幅2.5~3cm。 11.10~11.63m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端47°、下端25°で直線的に連続。径3~5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網状に分布する。にぶい黄褐色を呈す	0							5/25	218						
10	14.58	6.87			明黄褐							7.64~26.00m: 花崗斑岩である。 10.07~20.57mは風化、変質、礫砕で軟化が著しい。これ以外には岩片状~短柱状コアが主体となる。 ●11.02~11.63m: 破砕部 11.02~11.05m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5~10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土~粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1~4cm。 11.05~11.07m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端とも55°直線的に連続。径2~5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5~10mm。 11.07~11.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端55°、下端47°で直線的であるが不連続。径5~10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。 灰白~にぶい黄褐色を呈する。幅2.5~3cm。 11.10~11.63m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端47°、下端25°で直線的に連続。径3~5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網状に分布する。にぶい黄褐色を呈す	0							5/25	98						
11	14.39	7.12			明黄褐							7.64~26.00m: 花崗斑岩である。 10.07~20.57mは風化、変質、礫砕で軟化が著しい。これ以外には岩片状~短柱状コアが主体となる。 ●11.02~11.63m: 破砕部 11.02~11.05m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5~10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土~粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1~4cm。 11.05~11.07m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端とも55°直線的に連続。径2~5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5~10mm。 11.07~11.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端55°、下端47°で直線的であるが不連続。径5~10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。 灰白~にぶい黄褐色を呈する。幅2.5~3cm。 11.10~11.63m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端47°、下端25°で直線的に連続。径3~5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網状に分布する。にぶい黄褐色を呈す	0							5/25	98						
12	13.99	7.64			明黄褐							7.64~26.00m: 花崗斑岩である。 10.07~20.57mは風化、変質、礫砕で軟化が著しい。これ以外には岩片状~短柱状コアが主体となる。 ●11.02~11.63m: 破砕部 11.02~11.05m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5~10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土~粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1~4cm。 11.05~11.07m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端とも55°直線的に連続。径2~5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5~10mm。 11.07~11.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端55°、下端47°で直線的であるが不連続。径5~10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。 灰白~にぶい黄褐色を呈する。幅2.5~3cm。 11.10~11.63m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端47°、下端25°で直線的に連続。径3~5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網状に分布する。にぶい黄褐色を呈す	0							5/25	98						
13					明黄褐							7.64~26.00m: 花崗斑岩である。 10.07~20.57mは風化、変質、礫砕で軟化が著しい。これ以外には岩片状~短柱状コアが主体となる。 ●11.02~11.63m: 破砕部 11.02~11.05m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5~10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土~粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1~4cm。 11.05~11.07m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端とも55°直線的に連続。径2~5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5~10mm。 11.07~11.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端55°、下端47°で直線的であるが不連続。径5~10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。 灰白~にぶい黄褐色を呈する。幅2.5~3cm。 11.10~11.63m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端47°、下端25°で直線的に連続。径3~5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網状に分布する。にぶい黄褐色を呈す	0							5/25	98						
14					灰黄							7.64~26.00m: 花崗斑岩である。 10.07~20.57mは風化、変質、礫砕で軟化が著しい。これ以外には岩片状~短柱状コアが主体となる。 ●11.02~11.63m: 破砕部 11.02~11.05m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端30°で直線的で、下端55°で直線的に連続。径5~10mmの花崗斑岩軟化岩片と岩片間の粘土~粘土脈からなる。にぶい褐色を呈する。幅1~4cm。 11.05~11.07m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端とも55°直線的に連続。径2~5mmの花崗斑岩半クサリ礫を約10%含む。灰褐色を呈する。幅5~10mm。 11.07~11.10m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端55°、下端47°で直線的であるが不連続。径5~10mmの花崗斑岩岩片を約30%含む。 灰白~にぶい黄褐色を呈する。幅2.5~3cm。 11.10~11.63m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj) 上端47°、下端25°で直線的に連続。径3~5mmの花崗斑岩岩片主体で、岩片間を細かい白色粘土脈が網状に分布する。にぶい黄褐色を呈す	0							5/25	98						

F-5 (2 / 2)

[illegible]

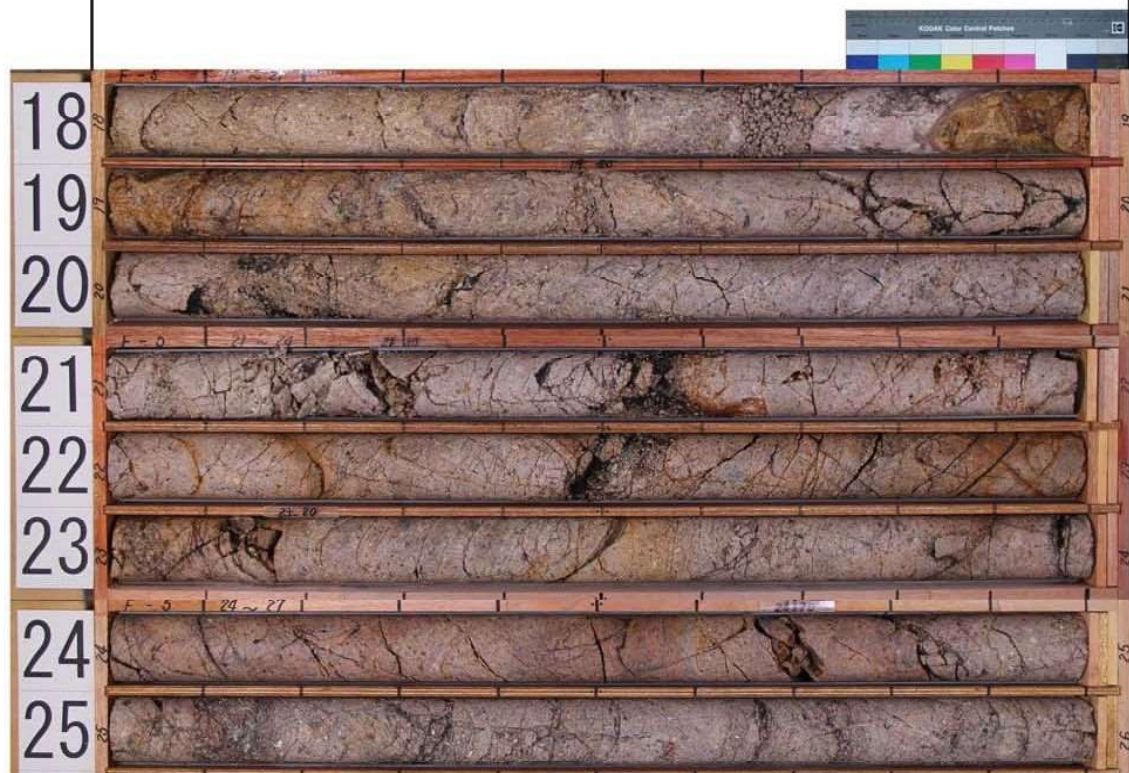
孔番：F-5

深度 0.00m～18.00m



孔番：F-5

深度 18.00m ~ 26.00m



H24-H-13

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

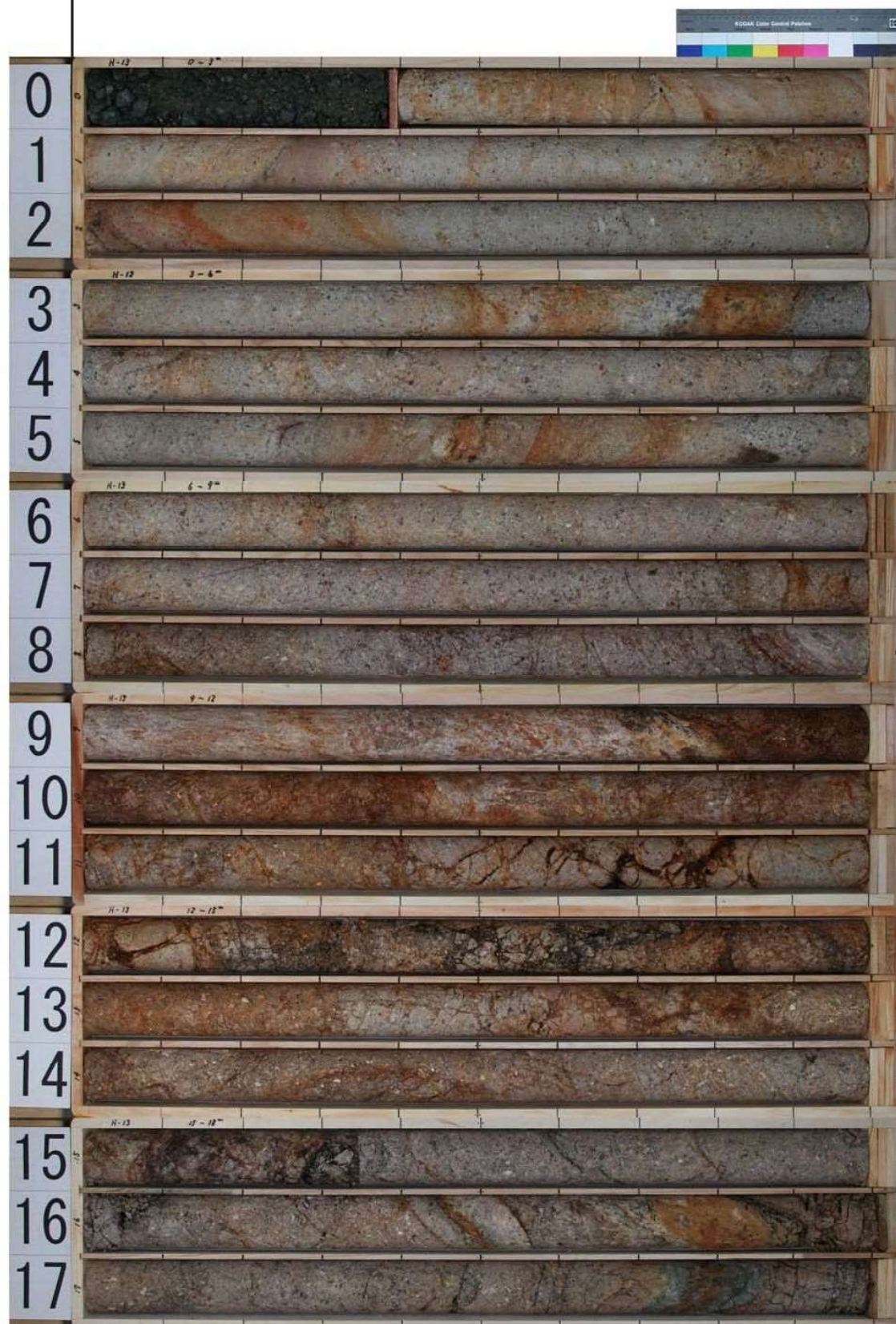
[illegible]

ボーリング名		H-13		調査位置		X:391.397 , Y:1103.630				北緯		35° 45' 20.34"											
発注機関		日本原子力発電株式会社				調査期間		2013 年 5 月 23 日 ~ 2013 年 5 月 29 日				東経		136° 1' 3.11"									
調査業者名				主任技師		現代場人		コ鑑定者				ボーリング責任者											
孔口標高		19.87 m		角上				方				地盤勾配				使用機種		試錐機		ハンマー落下用具			
総掘削長		20.00 m		度下				方				鉛直		90°		エンジン		ポンプ					

[illegible]

孔番 H-13 孔

深度 0.00m ~ 18.00m





H27-G-1

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

ボーリングNo. 1

ボーリング名	G-1		調査位置	X393.771, Y:1102.728			北 緯	35° 45' 20.36"	
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2015 年 7 月 14 日 ~ 2015 年 7 月 30 日		東 経	136° 1' 3.21"
調 査 業 者 名				主任技師	現 代 理 人	コ 鑑 定 者	ボーリング責任者		
孔 口 標 高	19.61 m	角	180° 上	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試 錐 機
総 掘 削 長	7.40 m	度	下	向				ハンマー 落下用具	ポン プ

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コ ア 採 取 率 → (%) 最大コア長 R Q D L [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) / 測 定 日 付	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深 度) 図	原 位 置 試 験 (孔 内 水 平 載 荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	給 水 量 (L / 分)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)							
(m)	(m)	(m)	図 分	調 分	調 分	調 分	調 分	調 分	調 分	事	0 50 100			0 10 20 30 40 50				100 / ケーシング												
1		18.03	1.58	埋土	灰白					0.00~1.58m: 埋土である。 砕石、礫混じり粗粒砂、コンクリートからなる。	0.00																			
2		17.30	2.31	埋土	灰白					1.58~3.78m: シルト混じり砂礫主体の第四系である。 1.58~2.31m: 礫混じりシルト質砂である。 径2~20mmの半クサリ礫化した花崗斑岩の角礫を10%含む細~中粒砂からなる。 2.05~2.31m: 幅10mmの風化礫状部である。 2.31~3.78m: シルト混じり砂礫である。	0.00								120											
3		15.83	3.78	シルト混じり砂礫	浅黄橙					径2~20mmの半クサリ礫化した花崗斑岩、アブライトからなり、礫率は40%である。下端側ほど礫は大型化する。基質は細~粗粒砂で全体に不均質である。 2.96~3.02m: シルト混じり砂からなる。	0.00							150												
4				花崗斑岩	灰白					3.78~7.40m: 花崗斑岩である。 風化で著しく軟化する。割れ目は不明瞭なものが多い。 5.80m以深は幅1~2mmの軟質な灰白色の粘土脈が分布する。 ●6.48~7.24m: 破砕部 6.48~7.06m: 粘土混じり礫状破砕部 (Hj) 上端52° で波打って、下端58° で直線的に連続する。径5~10mmの粘土化した岩片と岩片間の脈状粘土化部からなる。色調は上端側が明褐色、6.70m以深が風化でにぶい黄褐色を呈する。 7.06~7.14m: 礫質粘土状破砕部 (Hb) 上端58°、下端72° でいずれも直線的に連続する。上端は幅1~2mmで明赤灰~褐色の軟質なほぼ直線的な粘土脈。全体に粘土化著しく径10mm前後の外形不明瞭な岩片を20~30%含む。灰白色を呈し、径5~20mmのまだら模様状に明赤灰色を含む。幅20~50mm、7.14~7.17m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上下端と72° で概ね直線的に連続。径0.5~1mmの石英粒を10%程度含む。にぶい黄褐色を呈し、上端の幅3~6mmは風化で淡褐色化したにぶい黄褐色を呈する。 幅10~15mm。 7.17~7.24m: 粘土混じり礫状破砕部 (Hj) 上端72° で、下端70° でいずれも直線的に連続。下端はやや不明瞭。径3~5mm程度に細かく破砕された岩片と岩片間に薄く付着した粘土からなる。粘土との境界には2次せん断面と思われる細かい割れ目が多い。灰白色を呈する。幅15~20mm。	0.00												7/28	86 / 透水						
5											0.00							138												
6											0.00							138												
7		12.21	7.40								0.00							180												
											0.00							7/29												

孔番：G-1

深度 0.00m ～ 7.40m



H27-G-2

ボーリング柱状図

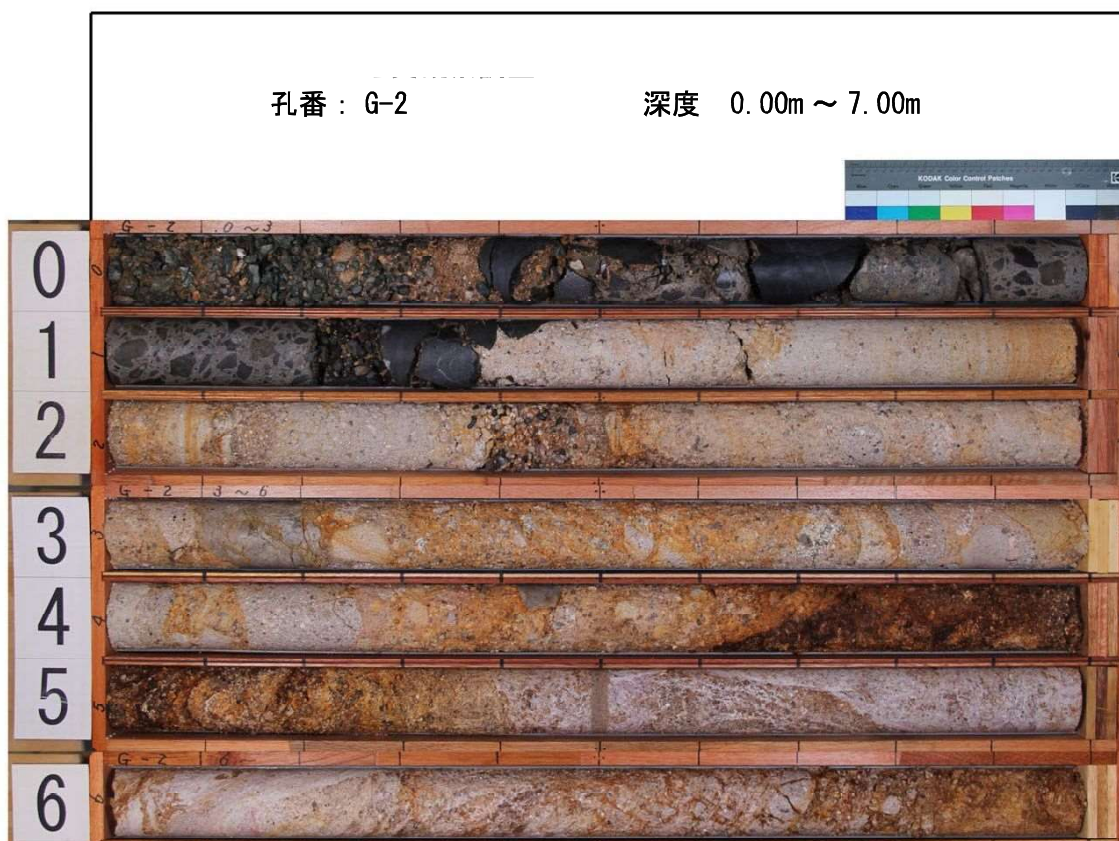
調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名		G-2		調査位置		X : 393.771, Y : 1102.228						北緯		35° 45' 20.35"									
発注機関		日本原子力発電株式会社						調査期間		2015 年 7 月 25 日 ~ 2015 年 7 月 27 日						東経		136° 1' 3.22"					
調査業者名				主任技師				現代場人		コ鑑ア 定者				ボーリング責任者									
孔口標高		19.40 m		角上				方		北 0° 270° 西 180° 南 90° 東 0°		地盤勾配				使用機種		試錐機		ハンマー 落下用具			
総掘削長		7.00 m		度下		0.0°		向								エンジン		ポンプ					

[illegible]



H24-H-7-1

H-7-1 (1 / 1)

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

ボーリングNo.

1

ボーリング名	H-7-1		調査位置	X:400.670 , Y:1102.320				北 緯	35° 45' 20.49"	
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2013 年 3 月 10 日 ~ 2013 年 3 月 12 日			東 経	136° 1' 3.44"
調 査 業 者 名				主任技師	現代 場 人	コ 鑑 定 者			ボーリン グ責任者	
孔 口 標 高	22.97 m	角		方 向		地盤勾配	水平 0°	使用機種	試 錐 機	ハンマー落下用具
総 掘 削 長	5.00 m	度		向		鉛 重	30°	エンジン		ポン プ

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測 定 日 付	(標準貫入) 試験		原 位 置 試 験 (孔 内 水 平 載 荷)	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	排 水 量 (L / 分)				
															(N 値)	(N 値 ~ 深 度) 図											
(m)	(m)	(m)										0 50 100				0 10 20 30 40 50											
1											2mまでノンコア								3/10	100	86	3.0	100	0.1	泥水5	5	
2	20.97	2.00		シルト質砂礫	灰 白						2.00~3.06m: シルト質砂礫 礫は径2~6mmの石英主体。所々に酸化鉄が付着する。	100%															
3	19.91	3.06		砂質シルト								3.06~4.64m: 砂質シルト 径15mmまでのクサリ礫が点在する。 ●3.73m: せん断面(K断面) 平均傾斜74°。幅1~3mmの粘土を挟み、10cm余りの波長でアンジュレートする。一部マンガガンが1mm程度の幅で挟在する。主に上部側にレンズ状~不定形なマンガガン汚染数ヶ所あり(幅1~2cm)。明黄褐色を呈する。	100%														
4	18.33	4.64		シルト質砂								4.64~5.00m: シルト質砂 径3~4mmの石英粒を含む。	100%														
	17.97	5.00		シルト質砂																							

孔番 H-7-1 孔

深度 2.00m ~ 5.00m



H27-G-3

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

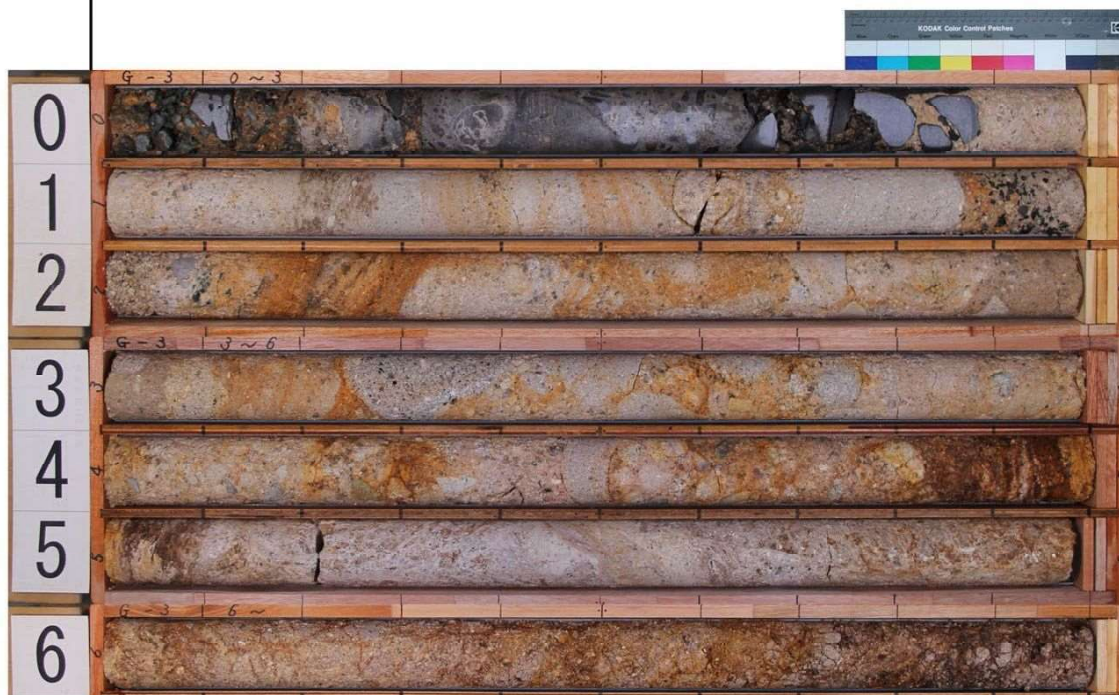
[illegible]

ボーリング名	G-3		調査位置		X: 393.771, Y: 1101.728				北緯		35° 45' 20.34"			
発注機関	日本原子力発電株式会社				調査期間		2015 年 7 月 24 日 ~ 2015 年 7 月 25 日				東経		136° 1' 3.23"	
調査業者名			主任技師		現代場		コ鑑ア		定者		ボーリング責任者			
孔口標高	19.14 m	角上	180°	方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機		ハンマー 落下用具			
総掘削長	7.00 m	度下	0°						エンジン		ポンプ			

[illegible]

孔番：G-3

深度 0.00m ～ 7.00m



H27-G-4

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

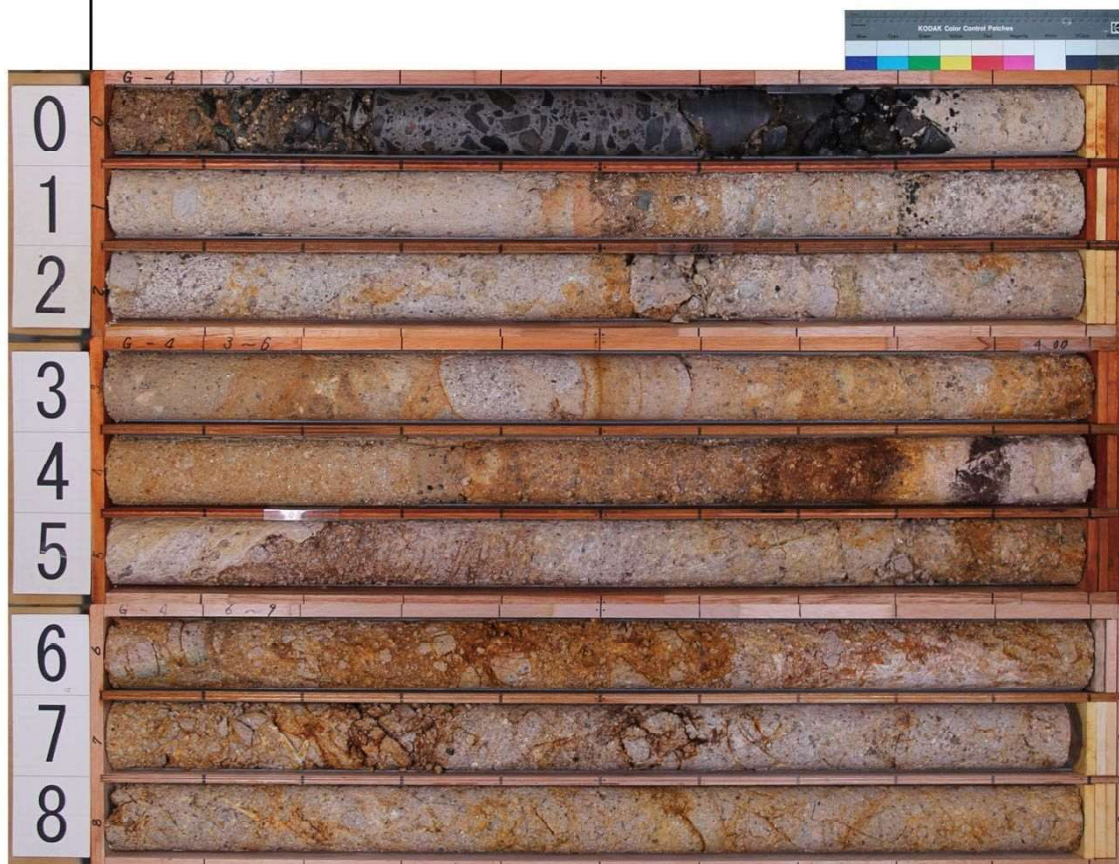
[illegible]

ボーリング名	G-4		調査位置		X: 393.771, Y: 1101.228				北緯	35° 45' 20.32"		
発注機関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2015 年 7 月 22 日 ~ 2015 年 7 月 24 日				東経	136° 1' 3.25"	
調査業者名			主任技師			現代理人	コ鑑 定 者		ボーリング責任者			
孔 口 標 高	18.92 m	角 上	180°	方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具		
総掘削長	9.00 m	度 下	0.0°						鉛直			90°

[illegible]

孔番：G-4

深度 0.00m ～ 9.00m



H24-H-9-1

ボーリング柱状図

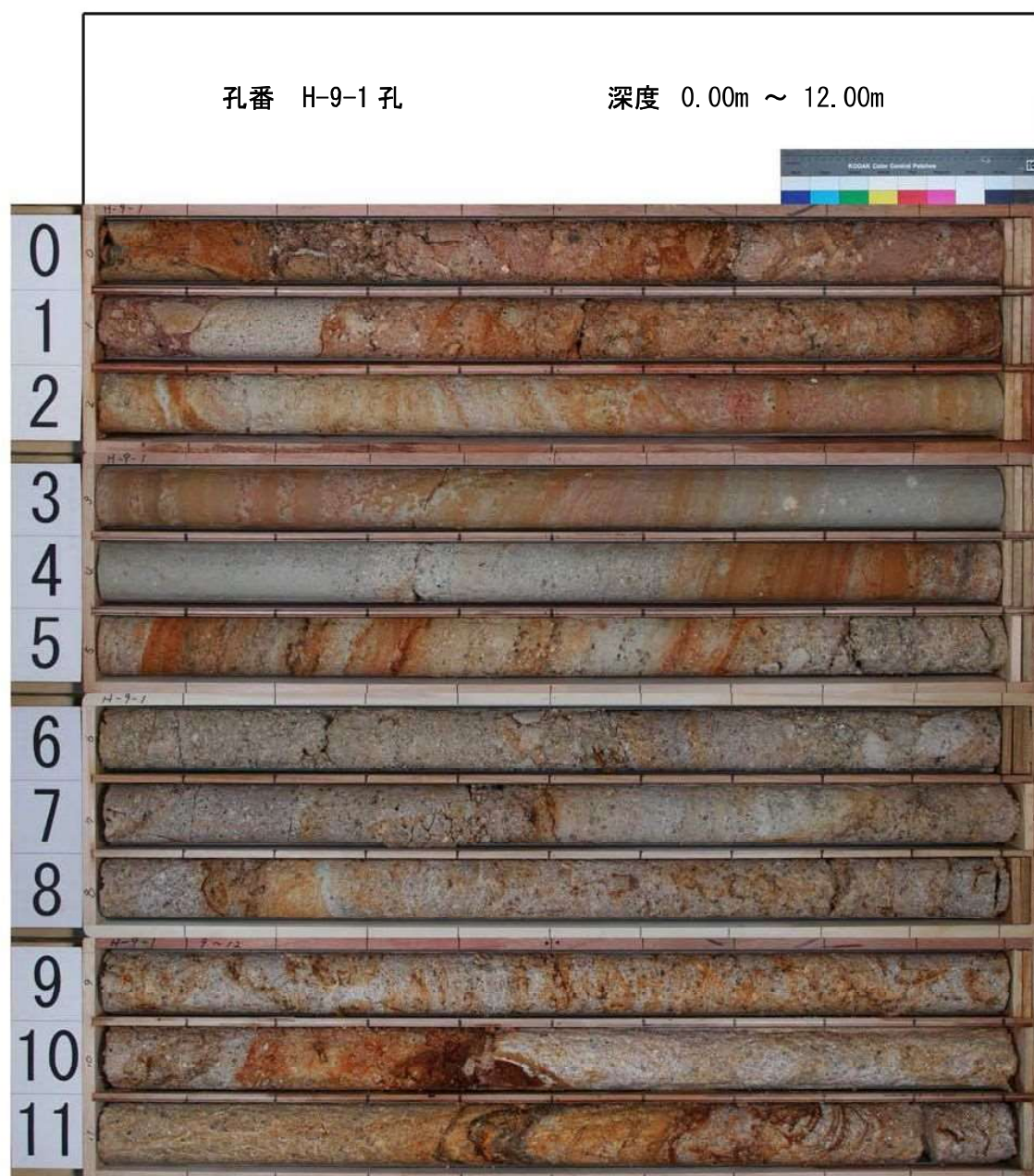
調 査 名

事業・工事名

ボーリングNo. 1

ボーリング名	H-9-1		調査位置		X:403.070 , Y:1101.400					北 緯		35° 45' 20.51"					
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社					調査期間		2013 年 3 月 8 日 ~ 2013 年 3 月 12 日					東 経		136° 1' 3.54"		
調 査 業 者 名			主任技師				現代 場 代 理 人		コ 鑑 定 者		ア		ボーリング グ責任者				
孔 口 標 高	21.83 m	角	180° 上		方 向		地盤 勾 配		使用 機種	試 錐 機					ハンマー 落下用具		
総 掘 削 長	12.00 m	度	下 0° 30.0°							エンジン					ポン プ		

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) / 測 定 日 付	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図	原 位 置 試 験 (孔 内 水 平 載 荷)	室 内 試 験	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	コ ア チ ュ ー ブ / ビ ッ ト	給 圧 (kN / MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)			
(m)	(m)	(m)	図	分	調	状	形	化	質	事																	
1	20.18	1.91		砂礫	黄緑色 にぶい 褐色					0.00~2.62m: 砂礫及び砂 (3層) 0.00~1.91m: 砂礫 礫は径5~130mmの花崗斑岩の歪角 ~歪円礫。礫率50%。基質は粗砂。 1.91~2.62m: 砂 中砂~粗砂が主体。下部ほど細粒で シルトが混じる。傾斜5°のラミナを もつ。下部に径2~3mmの石英を多 く含む。	100						3/ 8	80	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	1.0	90	0.1	泥水	1			
2	19.56	2.62		砂	明黄褐色					2.62~8.25m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 2.62~2.86m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 2.86~3.30m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 3.30~4.27m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 4.27~4.70m: 粗砂 4.70~4.90m: 砂質シルト 4.90~5.16m: シルト混じり粗砂 5.16~5.55m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 5.55~6.44m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 5.55~5.63m: シルト質細砂を挟む。	100							105									
3	19.35	2.86		砂	黄緑色					8.25~12.00m: 花崗斑岩 (Gp) 8.25~10.43m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。10.09m以深 では土砂状を呈する。 ●10.43~11.00m: 破砕部 (K断層) 10.43~10.44m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 10.60~11.00m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●11.38~11.64m: 破砕部 (G断層) 11.38~11.43m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 11.43~11.64m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 11.64~12.00m: 一部土砂状を呈す る。	100																
4	18.97	3.30		砂	黄緑色					12.00~14.43m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 12.00~12.20m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 12.20~12.40m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 12.40~13.30m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 13.30~13.70m: 粗砂 13.70~13.90m: 砂質シルト 13.90~14.10m: シルト混じり粗砂 14.10~14.43m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 14.43~14.64m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 14.64~14.66m: シルト質細砂を挟む。	100																
5	18.13	4.27		砂	黄緑色					14.43~16.25m: 花崗斑岩 (Gp) 14.43~14.64m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。14.64m以深 では土砂状を呈する。 ●14.64~15.00m: 破砕部 (K断層) 14.64~14.65m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 14.65~15.00m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●15.00~15.38m: 破砕部 (G断層) 15.00~15.09m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 15.09~15.38m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 15.38~15.64m: 一部土砂状を呈す る。	100																
6	17.76	4.70		砂	明黄褐色					16.25~17.02m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 16.25~16.45m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 16.45~16.70m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 16.70~17.02m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 17.02~17.30m: 粗砂 17.30~17.50m: 砂質シルト 17.50~17.76m: シルト混じり粗砂 17.76~18.00m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 18.00~18.25m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 18.25~18.27m: シルト質細砂を挟む。	100																
7	17.59	4.90		砂	明黄褐色					17.02~18.13m: 花崗斑岩 (Gp) 17.02~17.25m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。17.25m以深 では土砂状を呈する。 ●17.25~17.64m: 破砕部 (K断層) 17.25~17.26m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 17.26~17.64m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●17.64~17.90m: 破砕部 (G断層) 17.64~17.69m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 17.69~17.90m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 17.90~18.13m: 一部土砂状を呈す る。	100																
8	17.36	5.16		砂	明黄褐色					18.13~19.35m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 18.13~18.35m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 18.35~18.60m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 18.60~19.35m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 19.35~19.60m: 粗砂 19.60~19.80m: 砂質シルト 19.80~20.00m: シルト混じり粗砂 20.00~20.25m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 20.25~20.50m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 20.50~20.52m: シルト質細砂を挟む。	100																
9	17.02	5.55		砂	明黄褐色					19.35~20.18m: 花崗斑岩 (Gp) 19.35~19.55m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。19.55m以深 では土砂状を呈する。 ●19.55~19.90m: 破砕部 (K断層) 19.55~19.56m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 19.56~19.90m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●19.90~20.18m: 破砕部 (G断層) 19.90~19.95m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 19.95~20.18m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 20.18~20.50m: 一部土砂状を呈す る。	100																
10	16.25	6.44		砂	明黄褐色					20.18~21.44m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 20.18~20.40m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 20.40~20.65m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 20.65~21.44m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 21.44~21.70m: 粗砂 21.70~21.90m: 砂質シルト 21.90~22.10m: シルト混じり粗砂 22.10~22.35m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 22.35~22.60m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 22.60~22.62m: シルト質細砂を挟む。	100																
11	15.24	7.61		砂	明黄褐色					21.44~22.62m: 花崗斑岩 (Gp) 21.44~21.65m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。21.65m以深 では土砂状を呈する。 ●21.65~22.00m: 破砕部 (K断層) 21.65~21.66m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 21.66~22.00m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●22.00~22.38m: 破砕部 (G断層) 22.00~22.05m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 22.05~22.38m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 22.38~22.62m: 一部土砂状を呈す る。	100																
12	14.69	8.25		砂	明黄褐色					22.62~24.44m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 22.62~22.85m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 22.85~23.10m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 23.10~24.44m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 24.44~24.70m: 粗砂 24.70~24.90m: 砂質シルト 24.90~25.10m: シルト混じり粗砂 25.10~25.35m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 25.35~25.60m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 25.60~25.62m: シルト質細砂を挟む。	100																
13	14.49	8.69		砂	明黄褐色					24.44~26.25m: 花崗斑岩 (Gp) 24.44~24.65m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。24.65m以深 では土砂状を呈する。 ●24.65~25.00m: 破砕部 (K断層) 24.65~24.66m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 24.66~25.00m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●25.00~25.38m: 破砕部 (G断層) 25.00~25.05m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 25.05~25.38m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 25.38~26.25m: 一部土砂状を呈す る。	100																
14	14.29	9.37		砂	明黄褐色					26.25~28.00m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 26.25~26.45m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 26.45~26.70m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 26.70~28.00m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 28.00~28.25m: 粗砂 28.25~28.45m: 砂質シルト 28.45~28.65m: シルト混じり粗砂 28.65~28.90m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 28.90~29.15m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 29.15~29.17m: シルト質細砂を挟む。	100																
15	14.09	9.81		砂	明黄褐色					28.00~29.35m: 花崗斑岩 (Gp) 28.00~28.20m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。28.20m以深 では土砂状を呈する。 ●28.20~28.55m: 破砕部 (K断層) 28.20~28.21m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 28.21~28.55m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●28.55~28.90m: 破砕部 (G断層) 28.55~28.60m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 28.60~28.90m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 28.90~29.35m: 一部土砂状を呈す る。	100																
16	13.89	10.25		砂	明黄褐色					29.35~31.44m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 29.35~29.55m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 29.55~29.80m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 29.80~31.44m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 31.44~31.70m: 粗砂 31.70~31.90m: 砂質シルト 31.90~32.10m: シルト混じり粗砂 32.10~32.35m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 32.35~32.60m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 32.60~32.62m: シルト質細砂を挟む。	100																
17	13.69	10.69		砂	明黄褐色					31.44~33.25m: 花崗斑岩 (Gp) 31.44~31.65m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。31.65m以深 では土砂状を呈する。 ●31.65~32.00m: 破砕部 (K断層) 31.65~31.66m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 31.66~32.00m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●32.00~32.38m: 破砕部 (G断層) 32.00~32.05m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 32.05~32.38m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 32.38~33.25m: 一部土砂状を呈す る。	100																
18	13.49	11.13		砂	明黄褐色					33.25~35.00m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 33.25~33.45m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 33.45~33.70m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 33.70~35.00m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 35.00~35.25m: 粗砂 35.25~35.45m: 砂質シルト 35.45~35.65m: シルト混じり粗砂 35.65~35.90m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 35.90~36.15m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 36.15~36.17m: シルト質細砂を挟む。	100																
19	13.29	11.57		砂	明黄褐色					35.00~36.25m: 花崗斑岩 (Gp) 35.00~35.20m: 幅1~2mmの粘土脈 が網目状に分布する。35.20m以深 では土砂状を呈する。 ●35.20~35.55m: 破砕部 (K断層) 35.20~35.21m: 粘土状破砕部 (Hc-1) 上端65°。下端不明瞭 (漸移的) で、上端は一部で波打つが概ね直 線的でシャープに連続。径2~3mm の石英粒 (一部マンガン鉱染で黒 褐色化) と径5~10mmの粘土化した 岩片を多く含む。灰白色を呈する。 幅8cm (65°)。 35.21~35.55m: 粘土混じり岩片状 破砕部 (Hj) 上端。下端とも不明瞭。径5~20mm の粘土化した岩片と粘土化~砂質 の基質からなる。灰白色~にぶい 黄褐色を呈する。 ●35.55~35.90m: 破砕部 (G断層) 35.55~35.60m: 礫混じり粘土状破 砕部 (Hc-2) 上端65°。下端63°で波打ち。幅2~ 3mmのシルト脈を挟む。幅20~30mm 。明黄褐色~褐色。 35.60~35.90m: 粘土混じり礫状破 砕部 (Hj) 下端43°。 35.90~36.25m: 一部土砂状を呈す る。	100																
20	13.09	12.00		砂	明黄褐色					36.25~38.00m: シルト質粘土及び砂礫 (2層) 36.25~36.45m: シルト質粘土 径2~3mmの石英を少量含む。 36.45~36.70m: 細砂 傾斜5°。砂質シルトとの互層で、 全体に細砂が優勢。 36.70~38.00m: 礫混じり砂質シルト 石英、花崗斑岩の細~中礫を含む。 38.00~38.25m: 粗砂 38.25~38.45m: 砂質シルト 38.45~38.65m: シルト混じり粗砂 38.65~38.90m: 礫混じり中砂 径3~5mmの石英、花崗斑岩の礫を 含む。 38.90~39.15m: 粗砂 花崗斑岩の中礫を含む。 39.15~39.17m: シルト質細砂を挟む。	100																



H27-G-5

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

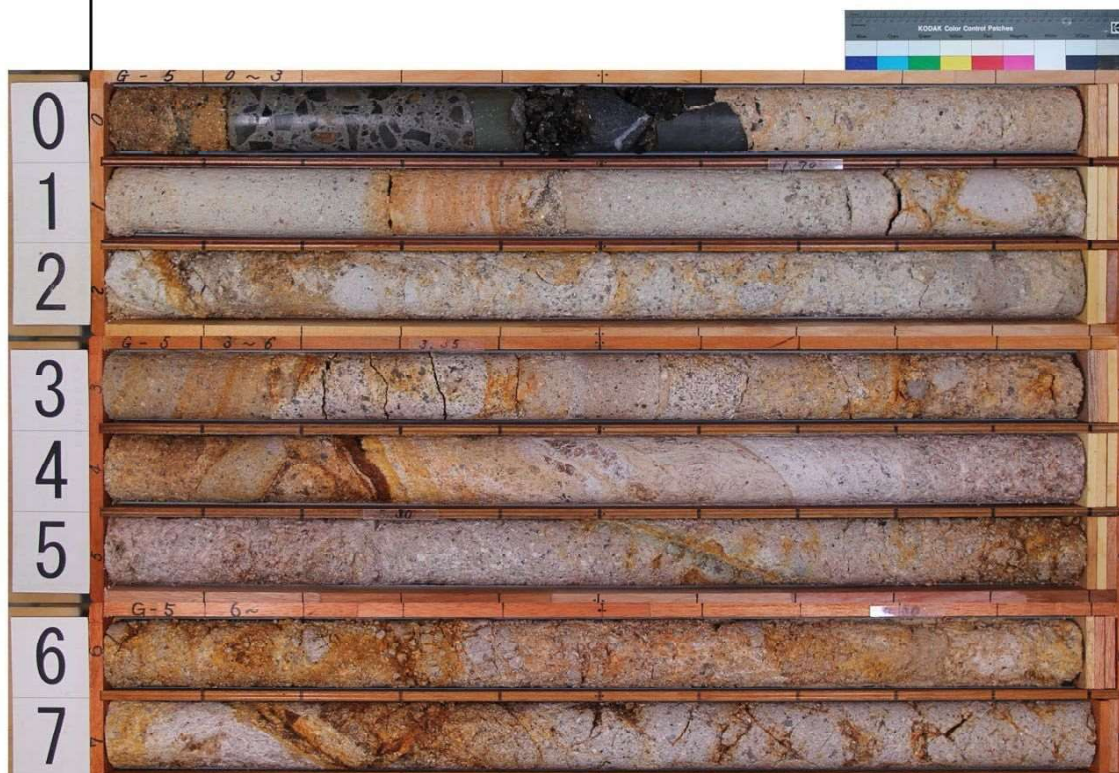
[illegible]

ボーリング名	G-5		調査位置		X : 393.771, Y : 1100.728				北 緯		35° 45' 20.31"			
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社				調査期間		2015 年 7 月 21 日 ~ 2015 年 7 月 22 日				東 経		136° 1' 3.26"	
調 査 業 者 名			主任技師				現代 場 代理人		コ 鑑 定 者		ボーリング責任者			
孔 口 標 高	18.70 m	角 上	180°	方 向		地盤勾配		使用機種	試 錐 機		ハンマー 落下用具			
総 掘 削 長	8.00 m	度 下	0.0°						エンジン		ポ ン プ			

[illegible]

孔番：G-5

深度 0.00m ~ 8.00m



H27-G-6

ボーリング柱状図

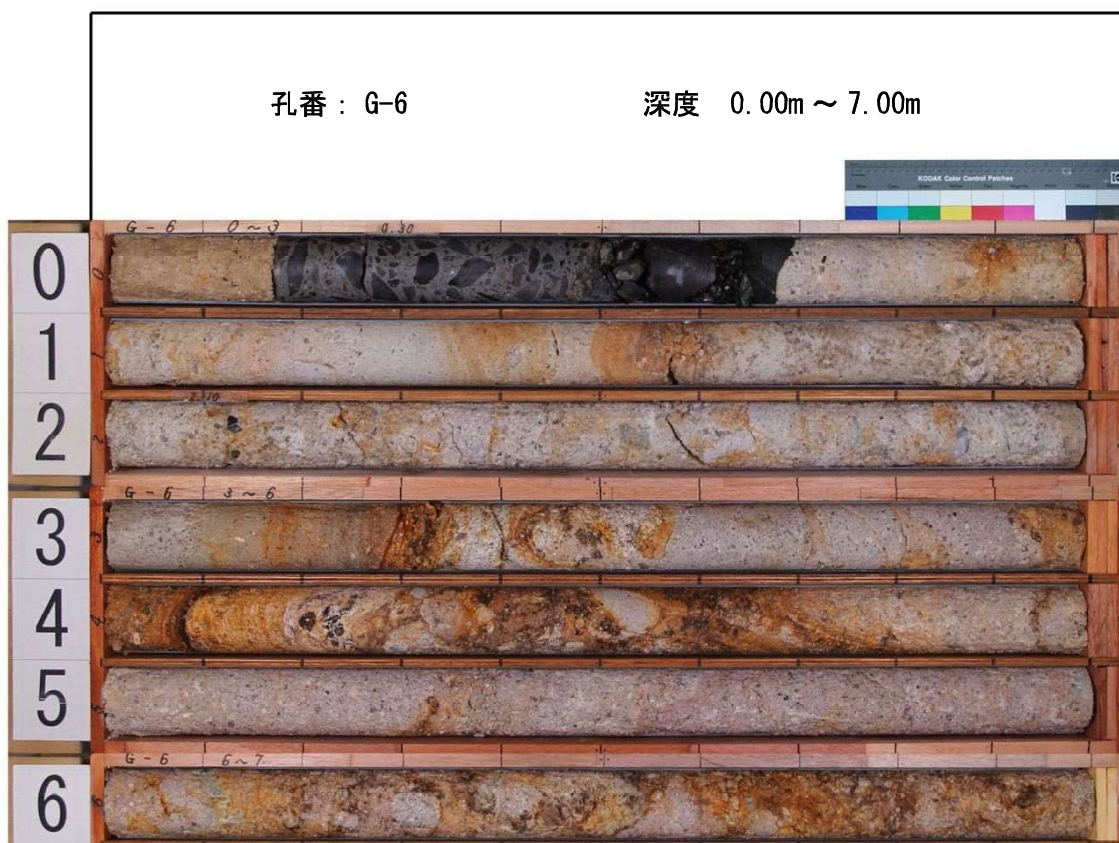
調 査 名

事業・工事名

[illegible]

ボーリング名	G-6		調査位置		X: 393.771, Y: 1100.228				北緯	35° 45' 20.30"		
発注機関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2015 年 7 月 20 日 ~ 2015 年 7 月 21 日				東経	136° 1' 3.27"	
調査業者名			主任技師		現代場 代理人		コ 鑑 定 者		ボーリング 責任者			
孔口標高	18.76 m	角 上		方 向		地盤 勾配		使用 機種	試錐機	ハンマー 落下用具		
総掘削長	7.00 m	度 下						エンジン	ポンプ			

[illegible]



H24-H-14

ボーリング柱状図

調 査 名

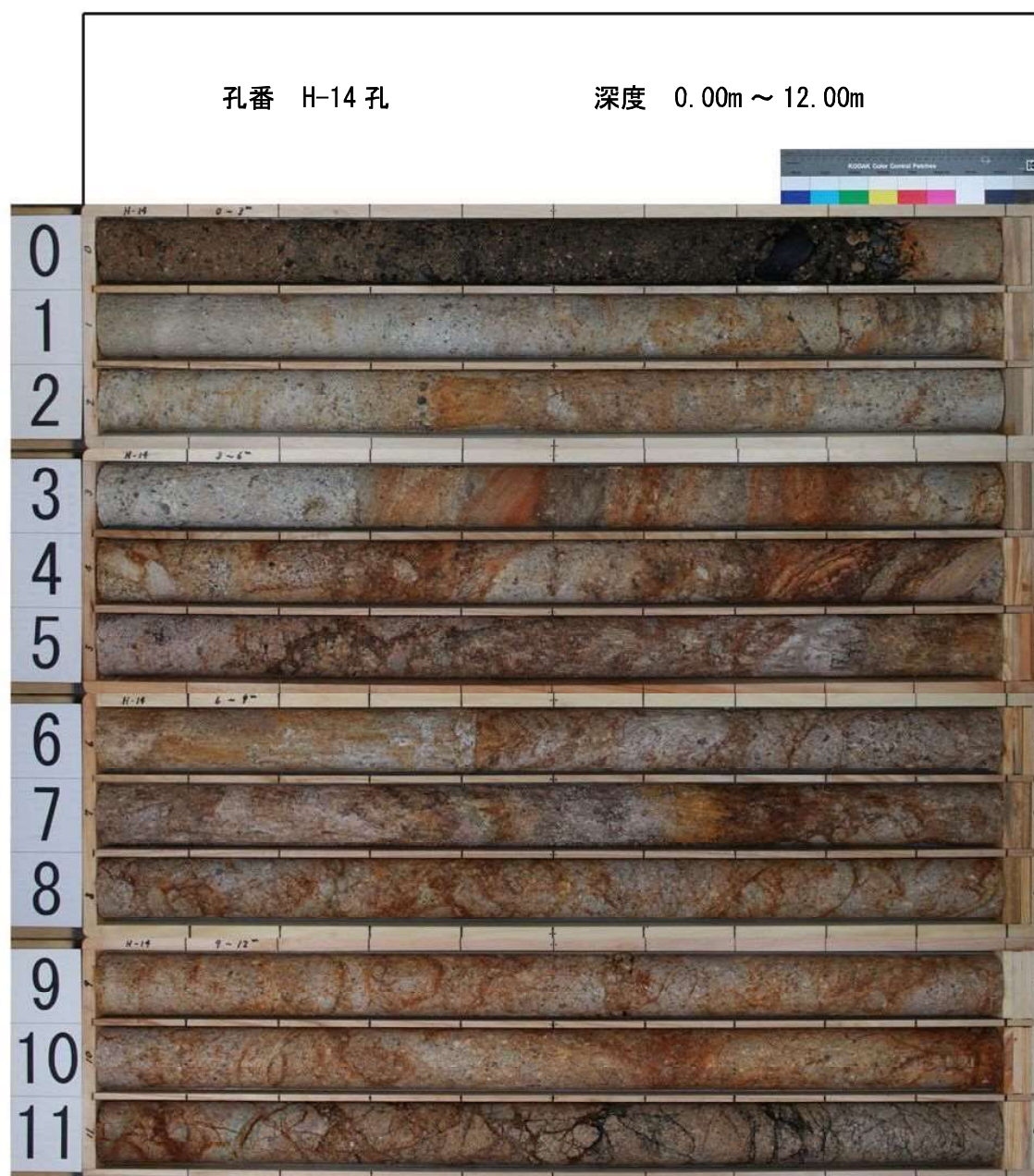
事業・工事名

ボーリングNo.

1

ボーリング名	H-14		調査位置		X:392.490 , Y:1100.294					北 緯		35° 45' 20.27"				
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社					調査期間		2013 年 5 月 30 日 ~ 2013 年 6 月 4 日					東 経		136° 1' 3.23"	
調 査 業 者 名			主任技師				現代 場 人		コ 鑑 定 者				ボーリング責任者			
孔 口 標 高	18.78 m	角			方			地盤勾配	水平 0°		使用機種		試験機		ハンマー落下用具	
総掘削長	12.00 m	度			向			鉛直	90°		エンジン		ポン プ			

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)		
														(N 値 ~ 深 度) 図	(N) 値												
1	17.88	0.90		埋土	灰黄褐					0.00~0.90m: 埋土 礫混じり粗砂からなる。径5~10mmの碎石を含む。	0.00							8/31	305	8.2	80	0.0	無水	0			
2				礫混じり粗砂	明黄褐					0.90~3.85m: 礫混じり粗砂及び粗砂 (2層) 0.90~3.28m: 礫混じり粗砂 径10~60mmの垂円~垂角礫を含む。 3.28~3.85m: 礫・粘土混じり粗砂 径3~10mmの石英や礫を含む。基質は粘土の混じる不均質な粗砂。 3.28~3.41m: 傾斜10~20°の弱いラミナあり。	0.00										8.1	180	0.1	泥水	3		
3	15.50	3.28		灰白	橙						0.00																
4	14.93	3.85		砂礫	にぶい黄緑					3.85~4.73m: 砂礫 (1層) 礫は径2~100mmの石英、花崗斑岩の垂円~垂角礫。基質は締まった粗砂。	0.00																
5				にぶい褐		D ₁	Y _g	cg	δ	4.73~12.00m: 花崗斑岩 (Gp) 4.73~4.93m: 割れ目沿いに褐色化が著しい。 ●4.93~7.81m: 破砕部 (K断層) 4.93~4.97m: 粘土状破砕部 (Ho-I)	0.00																
6				明褐灰						上端55°。下端55°で、両者とも直線的でシャープに連続。径1~2mmの石英粒を少量含む。色調は淡部側から、にぶい褐色~明黄褐色~にぶい褐色~明黄褐色とほぼ平行な縞状で厚さ5~10mmで繰り返して出現する。幅3.5cm。 4.97~7.81m: 粘土混じり岩片状破砕部 (Hj)	0.00																
7				花崗斑岩	にぶい黄緑	E _g	Y _g	dg	δ	上端55°。下端50°で、上端は直線的でシャープに、下端は一部不明瞭で連続する。径5~40mmの一部粘土化。一部硬さEないしDの花崗斑岩岩片と岩片が粘土化ないし砂状化した基質からなる。5.74~5.84m, 6.17~6.42m, 7.10~7.34m, 7.50~7.69mはいずれも粘土化が著しい軟弱な粘土であるが、各粘土境界は漸移的でせん断面はもたない。全体の色調は風化の強弱に対応して、灰白色~明黄褐色~褐色~褐色など多様に変化する。 7.81~11.00m: 軟化した岩片と砂状化した基質からなる。一部、基質中に幅1mm前後の明黄褐色粘土脈が分布する。	0.00																
8				花崗斑岩						11.00~12.00m: 傾斜10~30°とこれらに斜交する40~80°の割れ目が分布する。割れ目沿いの砂状化が認められる。	0.00																
9				花崗斑岩							0.00																
10				花崗斑岩							0.00																
11				花崗斑岩							0.00																
12	6.78	12.00		灰褐		D _g	Y _g	cg	γ		0.00	CL'						6/2	160	86	8.1	180	0.2	泥水	3		



H27-G-7

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

ボーリングNo.

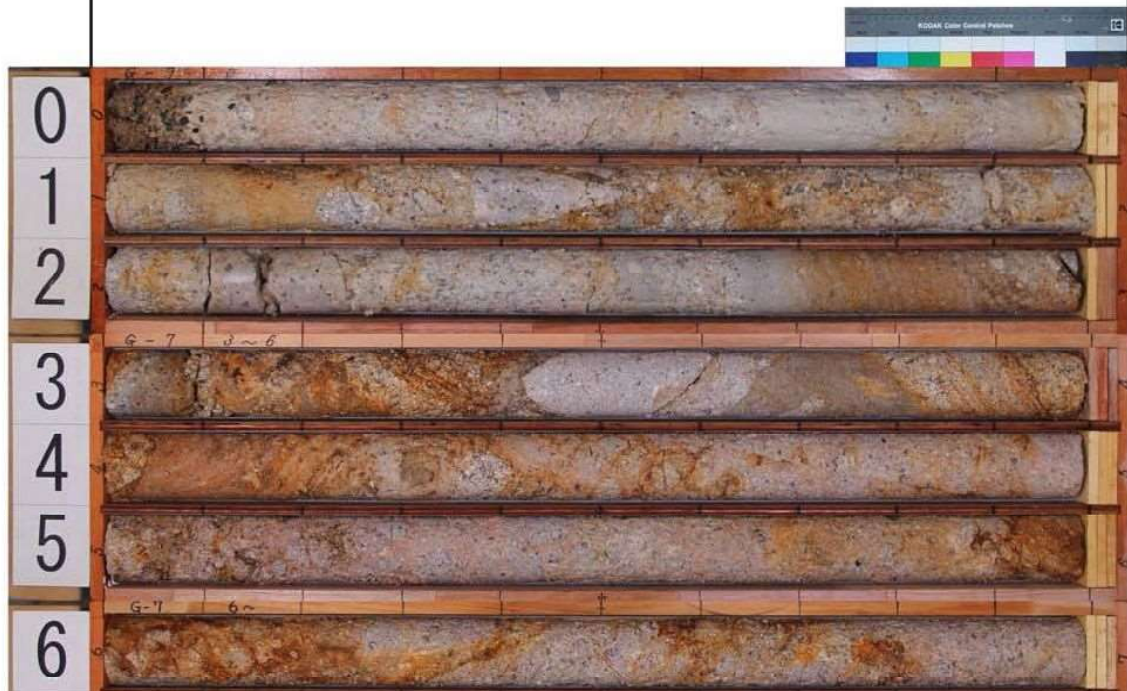
1

ボーリング名	G-7			調査位置	X : 393.771, Y : 1099.728			北 緯	35° 45' 20.28"		
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2015 年 7 月 15 日 ~ 2015 年 7 月 18 日			東 経	136° 1' 3.28"	
調 査 業 者 名				主任技師	現 代 理 人	コ 鑑 定 者			ボーリング責任者		
孔 口 標 高	18.15 m	角		方 向		地盤勾配	水平 0°	使用機種	試 錐 機	ハンマー落下用具	
総 掘 削 長	7.00 m	度		向		鉛 重	0.0°	エンジン		ポン プ	

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平 載荷)	室内 試 験	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔壁保護	コアカチユーブ / ビット	給 水 圧 (kN ・ MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
														(N 値 ~ 深度) 図	(N) 値										
(m)	(m)	(m)	図	分	調	状	化	質	事																
	18.06	0.09		埋土 シルト質砂	灰白					0.00~0.09m: 埋土である。 0.09~4.41m: シルト混じり砂礫主体の第四系である。 0.09~1.22m: 礫混じりシルト質砂である。 径2~40mmの半クサリ礫化した花崗斑岩。アブライトの角礫へ一部垂直角礫を10~20%含む細~中粒砂からなる。 0.66~0.78m: 礫を僅かに含む均質なシルトである。 1.22~4.41m: シルト混じり砂礫である。										100 ケーシング					
1	16.93	1.22		シルト混じり砂礫	浅黄橙 灰白 灰														135						
2				にぶい黄褐 にぶい黄褐															120						
3				花崗斑岩	淡橙														113						
4	13.74	4.41		花崗斑岩	淡橙	Eg	Vg	cg	δ	2									86 泥水						
5				花崗斑岩	淡橙														134						
6	11.15	7.00		花崗斑岩	褐灰	Dg	Vg	cg	δ										123						

孔番：G-7

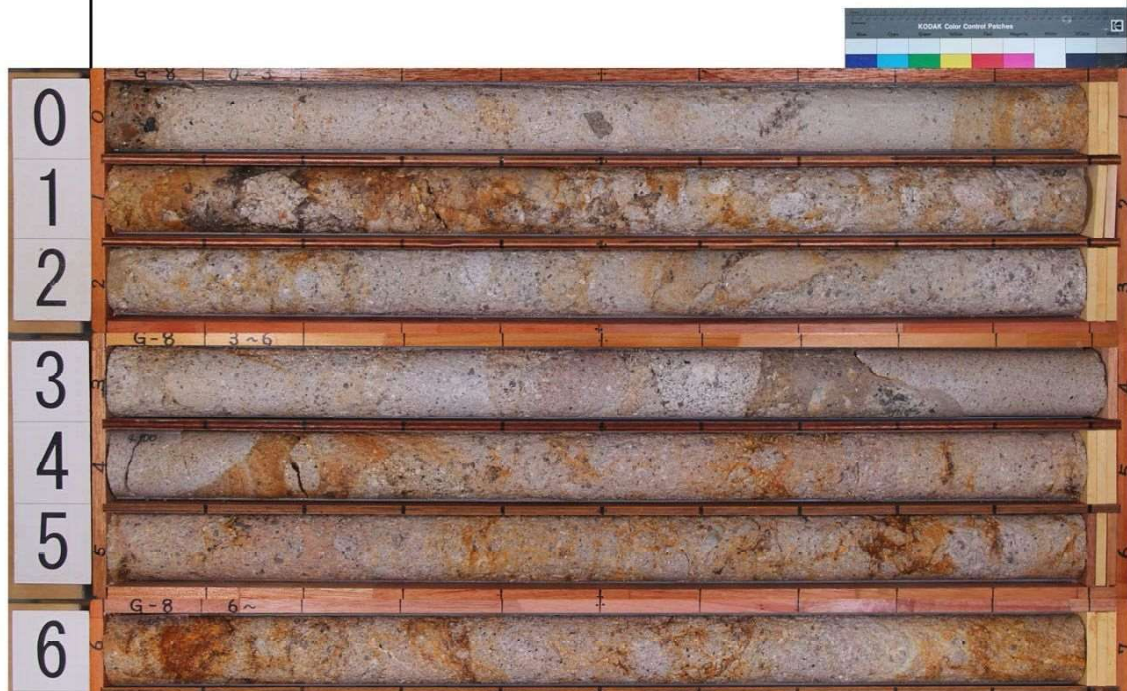
深度 0.00m ～ 7.00m



H27-G-8

孔番 : G-8

深度 0.00m ~ 7.00m



H27-G-9

ボーリング柱状図

調 査 名

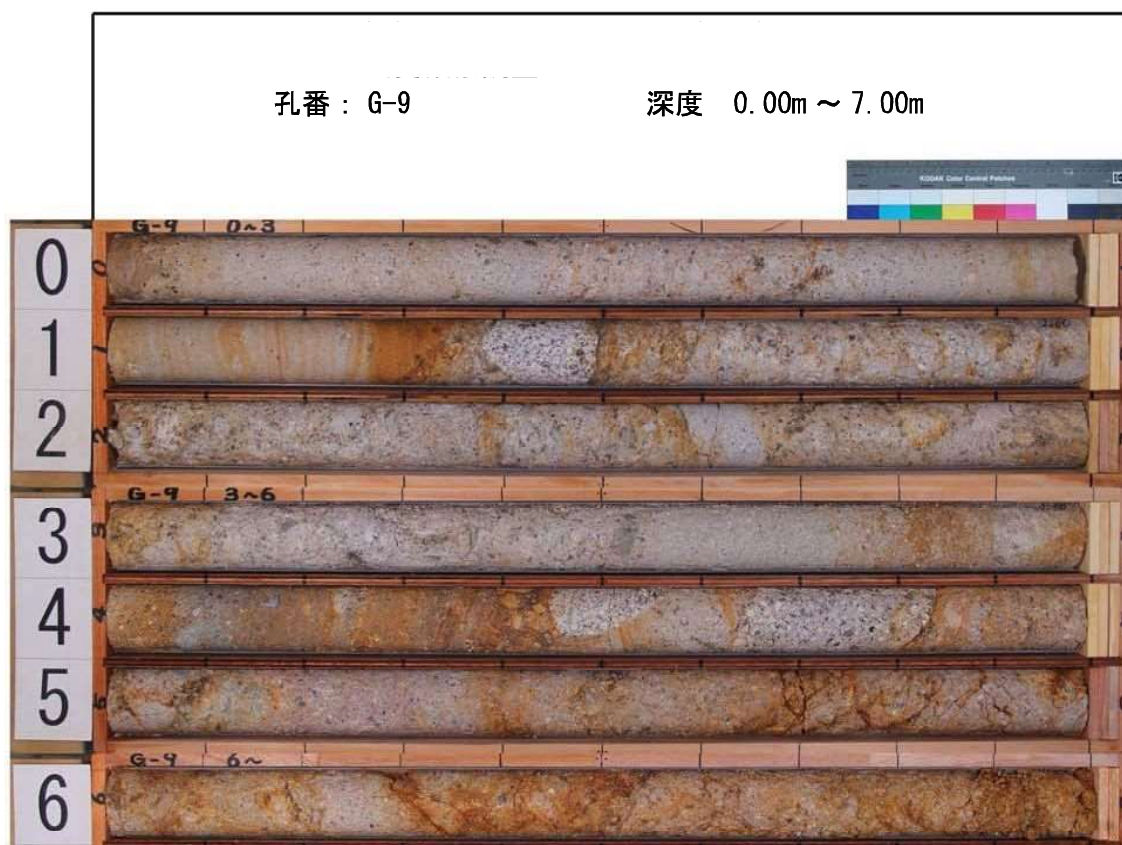
事業・工事名

ボーリングNo.

1

ボーリング名	G-9			調査位置	X : 393.771, Y : 1098.728					北 緯	35° 45' 20.26"			
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社					調査期間	2015 年 7 月 27 日 ~ 2015 年 7 月 28 日					東 経	136° 1' 3.30"	
調 査 業 者 名				主任技師			現代 場 人	コ 鑑 定 者			ボーリング責任者			
孔 口 標 高	17.97 m	角		方		地盤勾配		使用機種	試 錐 機				ハンマー落下用具	
総掘削長	7.00 m	度		向		鉛重		エンジン	エ ン ジ ン				ポ ン プ	

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D ↳ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水圧 載荷)	室内試験	掘 進 月 日	掘進速度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)		
														(N 値 ~ 深度) 図	(N 値)													
1		16.83	1.32		灰白 明黄褐					0.00~4.97m: シルト混じり砂礫主体の第四系である。 0.00~1.32m: 礫混じりシルト質砂である。 礫径2~30mmの半クサリ礫化した花崗斑岩。アブライトの角礫を10%含む細~中粒砂からなる。下端は風化で褐色を呈する。 1.32~4.97m: シルト混じり砂礫である。 径2~200mmの半クサリ礫化した花崗斑岩。アブライトの垂角~角礫が主体となる。基質は細粒~粗粒砂で全体に淘汰不良である。良く締まる。 ●2.00m: せん断面 (K断面) コアではコア端部となるため不詳。 4.35m: 傾斜25° の弱いラミナがある。 4.97~7.00m: 花崗斑岩である。全体に軟弱で割れ目は不明瞭である。	0 50 100			0 10 20 30 40 50							160		ダブルコアチップ / ダイヤモンドビット	10.0	200	0.1	泥水	1
2																												
3																												
4																			7/27		86 / 泥水							
5		13.67	4.97																									
6		11.91	7.00																									



H27-G-10

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

ボーリングNo.

1

ボーリング名	G-10		調査位置	X : 393.771, Y : 1098.228					北 緯	35° 45' 20.25"					
発 注 機 関	日本原子力発電株式会社				調査期間	2015 年 7 月 5 日 ~ 2015 年 7 月 5 日				東 経	136° 1' 3.32"				
調 査 業 者 名			主任技師			現代 場 人			コ 鑑 定 者			ボーリング 責任者			
孔 口 標 高	18.04 m	角 上			方 北			地盤 鉛直			使用 機種	試験機		ハンマー 落下用具	
総掘削長	8.00 m	度 下			向 西			鉛重 90°			エンジン			ポン プ	

標 尺	標 高	深 度	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)					
														(N 値 ~ 深 度) 図	(N 値)																
1				硬混じりシルト質砂	灰白					0.00~5.25m : 上部は硬混じりシルト質砂。下部はシルト混じり砂礫主体の第四系である。 0.00~2.04m : 硬混じりシルト質砂である。 径2~60mmの半クサリ礫化した花崗斑岩。アブライトの角礫を10~15%含む細~中粒砂からなる。 ●1.20m : せん断面 (K断面) 傾斜65°。30'の淡褐色塊状風化部をシャープに切る (変位センス不明)。 2.04~5.25m : シルト混じり砂礫である。 径2~320mmの半クサリ礫化した花崗斑岩。アブライトの直角~角礫が主体となり、礫率は40%である。基質は細粒~粗粒砂で全体に淘汰不良である。締まる。 2.04~2.27m : 礫径10~30mmが多く、全体に風化で褐色化している。 3.94~4.25m : 灰色の硬混じりシルト質砂を呈する。 5.25~8.00m : 花崗斑岩である。 風化で軟化が著しく、締まった砂状で割れ目はほぼ消滅するが、一部で径10~20mmの岩片が残留する。 6.85m以深では、全体に砂礫状コアとなる。 7.90~7.95m : 傾斜37'の割れ目沿いに連化変質し軟質な岩片が残留する。	0 50 100																				
2	16.00	2.04		にぶい質砂																160											
3				シルト混じり砂礫	灰白															144											
4				灰浅黄橙														7/25	130	86 / 泥水											
5	12.79	5.25		明褐灰																156											
6				花崗斑岩																128											
7	10.04	8.00		明黄褐																287											

孔番：G-10

深度 0.00m ~ 8.00m

